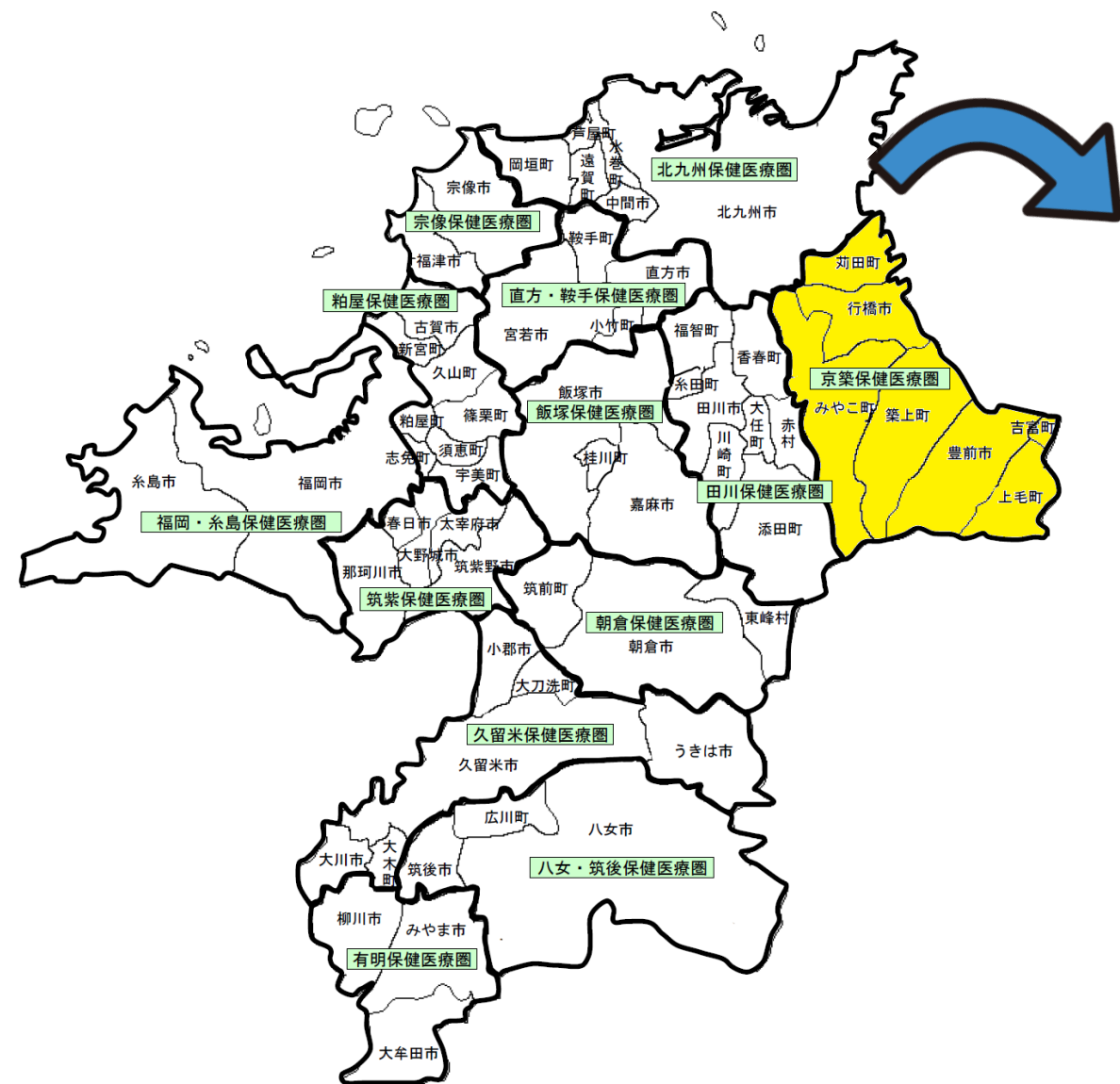


地区診断

— 京築区域 —

1	概要	3
2	人口の状況	4
3	出生率の状況	7
4	死亡率の状況	8
5	将来推計人口の推移	9
6	将来推計人口の推移（市町村別）	12
7	S C R の状況	14
8	患者推計	19
9	医療従事者〔医師〕	21
10	医療従事者〔医師・診療科〕	23
11	医療従事者〔常勤医師〕	25
12	医療介護資源の状況	28
13	医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕	30
14	在宅医療の状況	33
15	看護職員の状況	36
16	二次医療圏の人口及び流入流出患者割合・比較表	39
17	二次救急及び急患センターの位置	40
18	人口メッシュ（500m）	41
19	参考（九州周防灘地域定住自立圏）	42
20	救急搬送の状況	43
21	M D C 別割合	46
22	関係者意見	48
23	まとめ	49



構成市町村：2市5町

(行橋市、豊前市、苅田町、みやこ町、吉富町、上毛町、築上町)

面積：569.77km²

人口：183,302人 (令和2年国勢調査)

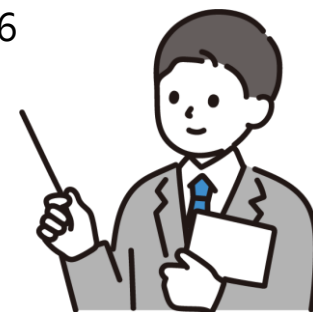
[うち年少人口(0~14) : 23,112人(12.6%)]

[うち生産年齢人口(15~64) : 100,670人(54.9%)]

[うち老年人口(65~) : 59,520人(32.5%)]

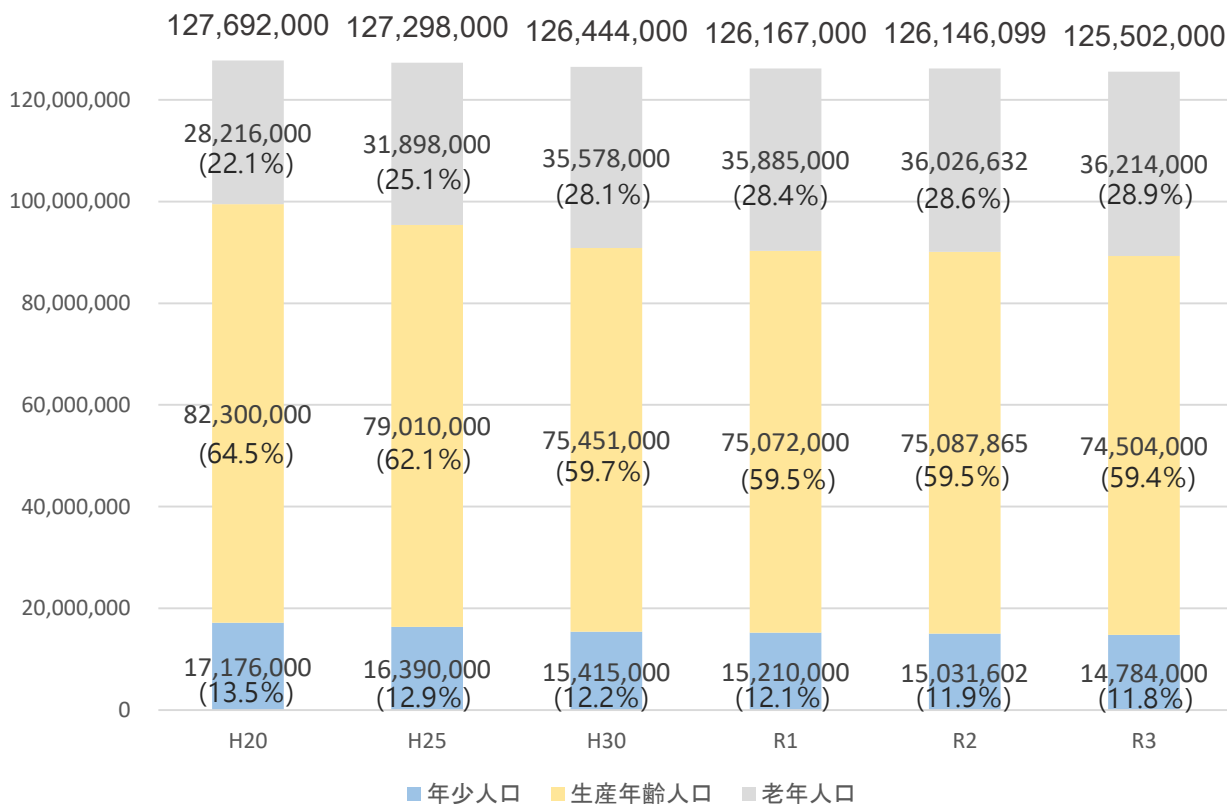
出生数：1,241人 (令和3年福岡県保健統計年報)
(人口千対：6.9) ※県平均7.4

死亡数：2,497人 (令和3年福岡県保健統計年報)
(人口千対：13.81) ※県平均11.16

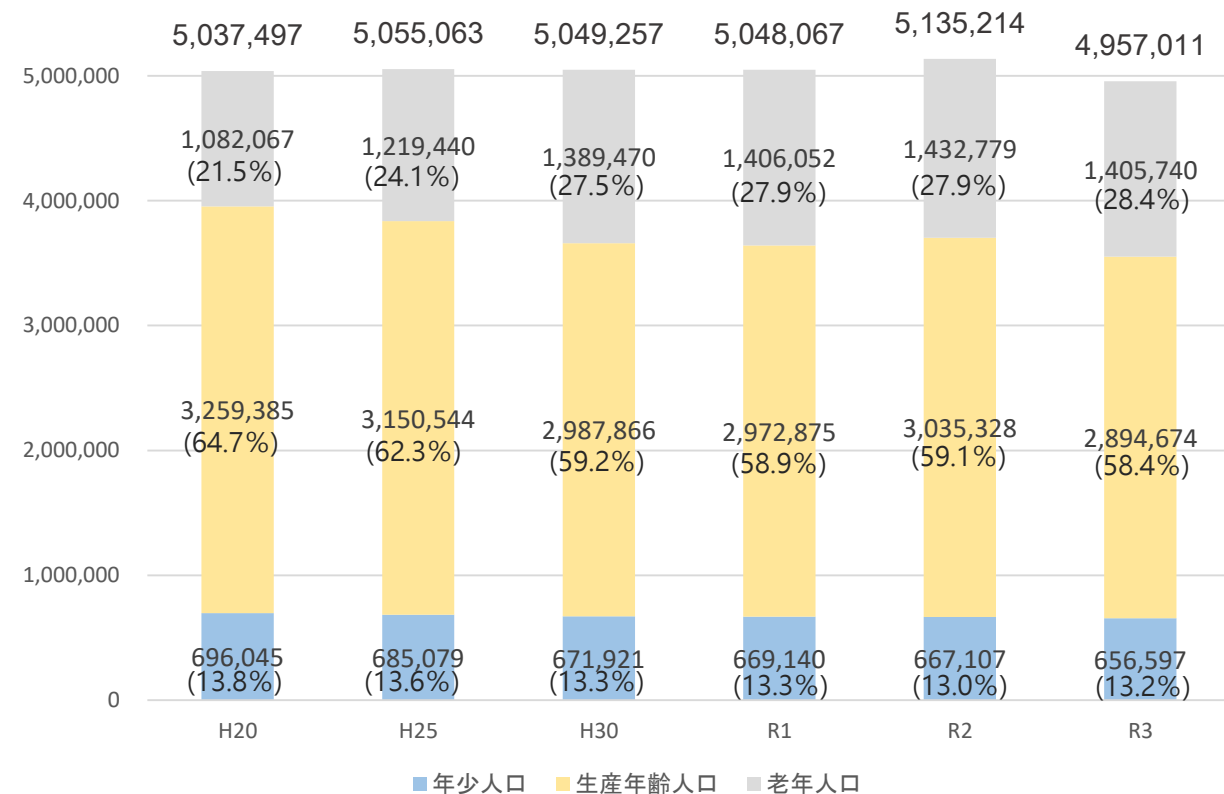


2. 人口の状況（福岡県保健統計年報：10月1日現在の人口）

全国

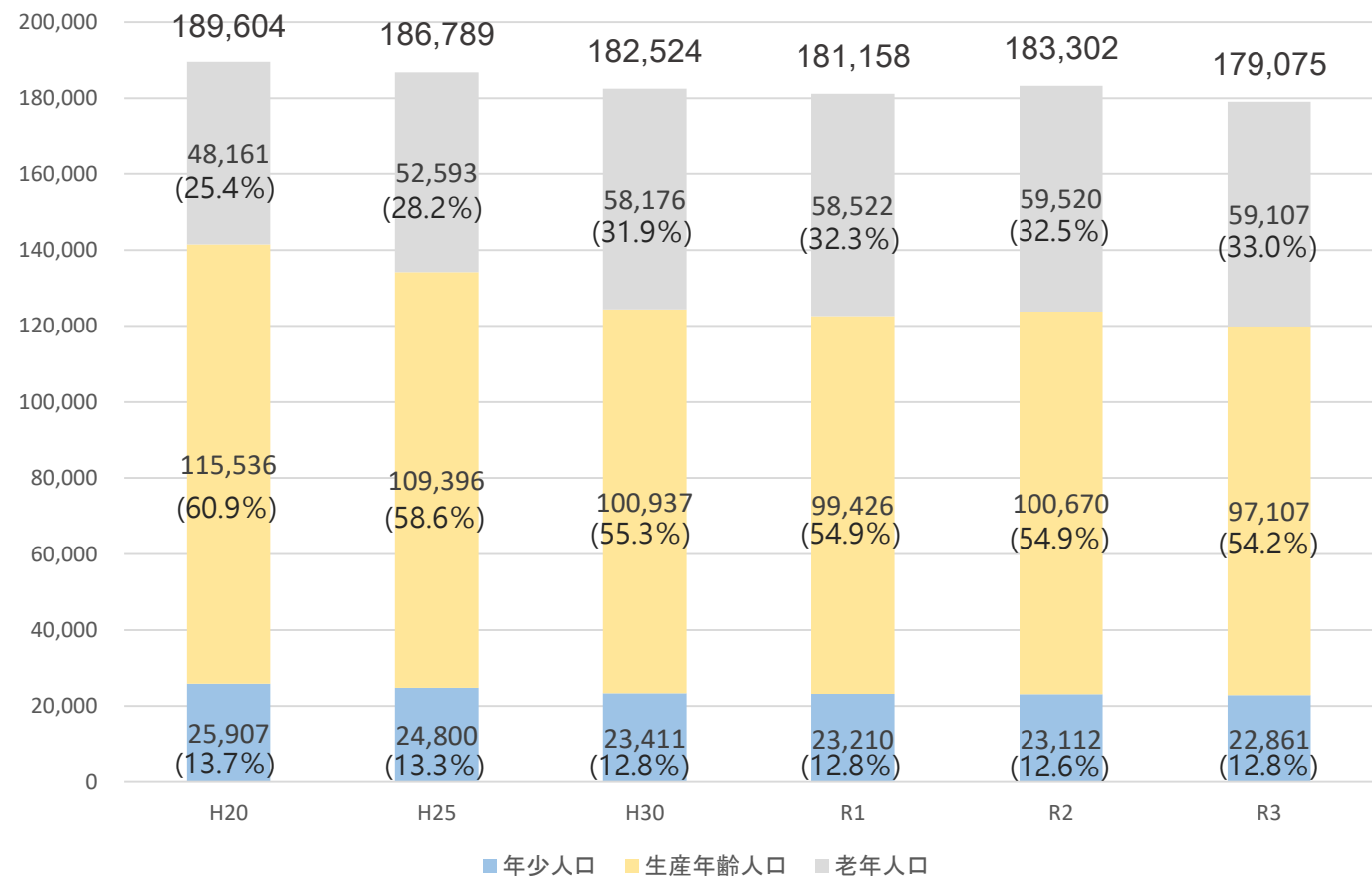


福岡県



- ・ 総人口について、全国は減少傾向であり、福岡県は令和2年をピークに減少していく見込み（スライド8参照）
- ・ 年齢3区分別人口の推移をみると、全国、福岡県ともに、老年人口の割合は増加傾向で、生産年齢人口、年少人口は、減少傾向となっている
- ・ 老年人口の割合は、H20年度からR3年度までで、全国で6.8ポイント増加し、福岡県では、6.9ポイント増加している

京築区域



- ・ 総人口については、減少傾向
- ・ 年齢3区分別人口の推移をみると、老年人口の割合は増加傾向で、生産年齢人口、年少人口は、減少傾向となっている
- ・ 特に、老年人口の割合は、30%を超えており、H20年度からR3年度までで、7.6ポイント増加している。
- ・ 各市町の状況をもても（スライド5参照）、老年人口の割合が40%を超えているような町もあり、各市町で状況は様々となっている



● 京築区域の各市町の状況

	H20			H25			H30			R01			R2			R3		
	年少人口	生産年齢人口	老年人口	年少人口	生産年齢人口	老年人口	年少人口	生産年齢人口	老年人口	年少人口	生産年齢人口	老年人口	年少人口	生産年齢人口	老年人口	年少人口	生産年齢人口	老年人口
行橋市	10,058	44,040	15,984	9,692	42,376	18,462	9,533	40,281	21,193	9,535	39,988	21,418	9,417	40,160	21,849	9,383	39,085	21,773
	(14.4%)	(62.8%)	(22.8%)	(13.7%)	(60.1%)	(26.2%)	(13.4%)	(56.7%)	(29.8%)	(13.4%)	(56.4%)	(30.2%)	(13.2%)	(56.2%)	(30.6%)	(13.4%)	(55.6%)	(31.0%)
豊前市	3,534	15,750	8,225	3,306	14,592	8,579	2,847	12,721	9,181	2,815	12,440	9,144	2,825	12,389	9,177	2,775	11,938	9,113
	(12.8%)	(57.3%)	(29.9%)	(12.5%)	(55.1%)	(32.4%)	(11.5%)	(51.4%)	(37.1%)	(11.5%)	(51.0%)	(37.5%)	(11.6%)	(50.8%)	(37.6%)	(11.6%)	(50.1%)	(38.2%)
苅田町	4,992	22,704	7,156	5,179	22,668	8,001	5,056	22,007	8,810	5,044	21,813	8,925	5,212	23,213	9,259	5,212	21,906	8,996
	(14.3%)	(65.1%)	(20.5%)	(14.4%)	(63.2%)	(22.3%)	(14.1%)	(61.3%)	(24.6%)	(14.1%)	(61.0%)	(24.9%)	(13.8%)	(61.6%)	(24.6%)	(14.4%)	(60.7%)	(24.9%)
みやこ町	2,683	12,649	6,748	2,267	11,215	7,181	1,999	9,397	7,893	1,965	9,111	7,865	1,907	9,001	7,917	1,868	8,666	7,890
	(12.2%)	(57.3%)	(30.6%)	(11.0%)	(54.3%)	(34.8%)	(10.4%)	(48.7%)	(40.9%)	(10.4%)	(48.1%)	(41.5%)	(10.1%)	(47.8%)	(42.1%)	(10.1%)	(47.0%)	(42.8%)
吉富町	1,074	4,139	1,758	978	3,905	1,853	910	3,608	2,057	895	3,568	2,082	854	3,562	2,120	838	3,531	2,103
	(15.4%)	(59.4%)	(25.2%)	(14.5%)	(58.0%)	(27.5%)	(13.8%)	(54.9%)	(31.3%)	(13.7%)	(54.5%)	(31.8%)	(13.1%)	(54.5%)	(32.4%)	(12.9%)	(54.6%)	(32.5%)
上毛町	1,069	4,536	2,426	1,038	4,164	2,424	999	3,716	2,545	993	3,659	2,561	984	3,651	2,616	962	3,556	2,650
	(13.3%)	(56.5%)	(30.2%)	(13.6%)	(54.6%)	(31.8%)	(13.8%)	(51.2%)	(35.1%)	(13.8%)	(50.7%)	(35.5%)	(13.6%)	(50.4%)	(36.1%)	(13.4%)	(49.6%)	(37.0%)
築上町	2,497	11,718	5,864	2,340	10,476	6,093	2,067	9,207	6,497	1,963	8,847	6,527	1,913	8,694	6,582	1,823	8,425	6,582
	(12.4%)	(58.4%)	(29.2%)	(12.4%)	(55.4%)	(32.2%)	(11.6%)	(51.8%)	(36.6%)	(11.3%)	(51.0%)	(37.6%)	(11.1%)	(50.6%)	(38.3%)	(10.8%)	(50.1%)	(39.1%)

表1) 昼間人口夜間人口

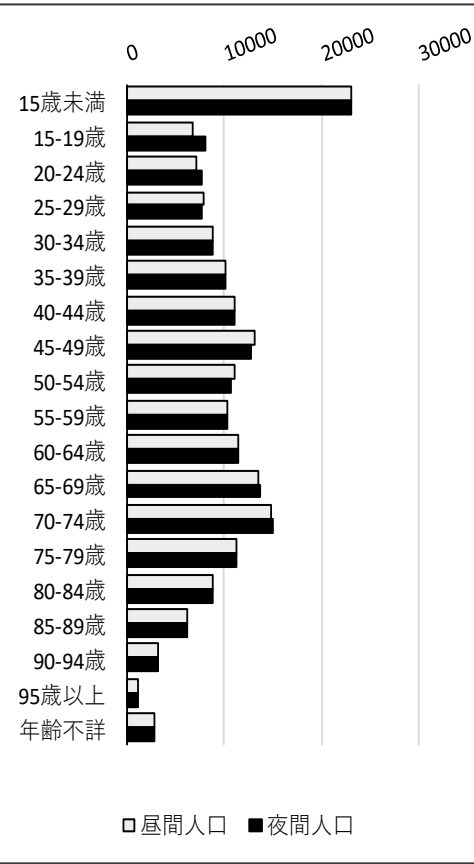


表2) 昼夜間人口比率

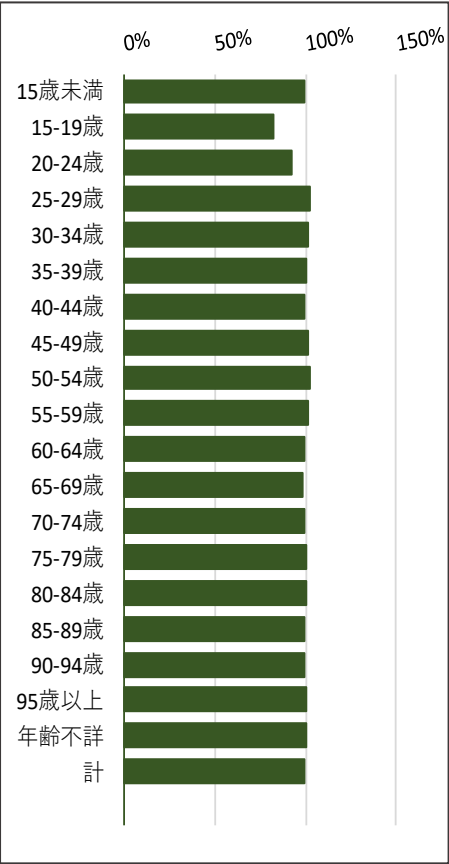


表3) 年齢別昼夜間人口

年齢	昼間人口		夜間人口		昼夜差		昼夜間人口比率	
	男	女	男	女	男	女	男	女
総数	181,939	183,302	99.3%					
15歳未満	22,995	23,075	99.7%					
15-19歳	6,675	8,100	82.4%					
20-24歳	7,053	7,634	92.4%					
25-29歳	7,930	7,754	102.3%					
30-34歳	8,876	8,769	101.2%					
35-39歳	10,109	10,033	100.8%					
40-44歳	11,005	11,042	99.7%					
45-49歳	13,019	12,796	101.7%					
50-54歳	11,025	10,738	102.7%					
55-59歳	10,380	10,239	101.4%					
60-64歳	11,370	11,390	99.8%					
65-69歳	13,468	13,622	98.9%					
70-74歳	14,827	14,900	99.5%					
75-79歳	11,206	11,203	100.0%					
80-84歳	8,825	8,826	100.0%					
85-89歳	6,182	6,185	100.0%					
90-94歳	3,093	3,095	99.9%					
95歳以上	1,035	1,035	100.0%					
年齢不詳	2,866	2,866	100.0%					

- ・ 昼夜間人口の差が最も大きい年代は「15-19歳」であり、通学で域外に流出しているものと思料
- ・ それ以外の年代については、100%近い比率となっている
- ・ 就業の年代（25-64）でみると、男性は昼間人口が多く、女性は夜間人口が多い状況となっており、男性は域外から流入し、女性は域外に流出しているものと思料

表4) 昼夜間人口比率

		計		就業者		通学者		その他	
		男	女	男	女	男	女	男	女
自地域で 従業・通学 等	自地域内で、従業・通学	41,484	36,113	33,376	28,453	8,107	7,660	1	0
	従業も通学もしていない	25,148	41,823			0	0	25,148	41,823
	不詳	10,517	8,972	1,595	1,140	989	977	7,933	6,855
	計	77,149	86,908	34,971	29,593	9,096	8,637	33,082	48,678
流出	他地域に従業・通学	11,584	7,661	10,283	6,268	1,301	1,393	0	0
流入	他地域から従業・通学	13,381	4,501	12,922	4,252	459	249	0	0

- ・ 就業者・男性は、流入が多く、就業者・女性は、流出が多い
- ・ 通学者は男女ともに、流出が多い



主な流出先

【就業】 中津市：4, 222人、北九州市小倉南区：3, 862人、北九州市小倉北区：3, 309人
(25. 5%) (23. 3%) (20. 0%)

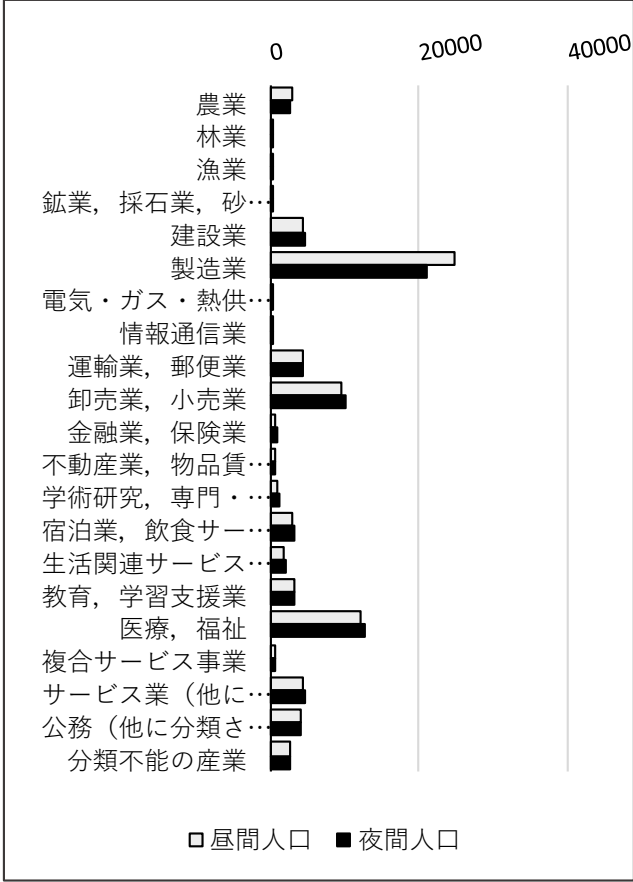
【通学】 北九州市小倉北区：802人、北九州市小倉南区：412人、中津市：290人
(29. 8%) (15. 3%) (10. 8%)

主な流入元

【就業】 北九州市小倉南区：5, 728人、中津市：3, 987人、北九州市小倉北区：1, 410人
(33. 4%) (23. 2%) (8. 21%)

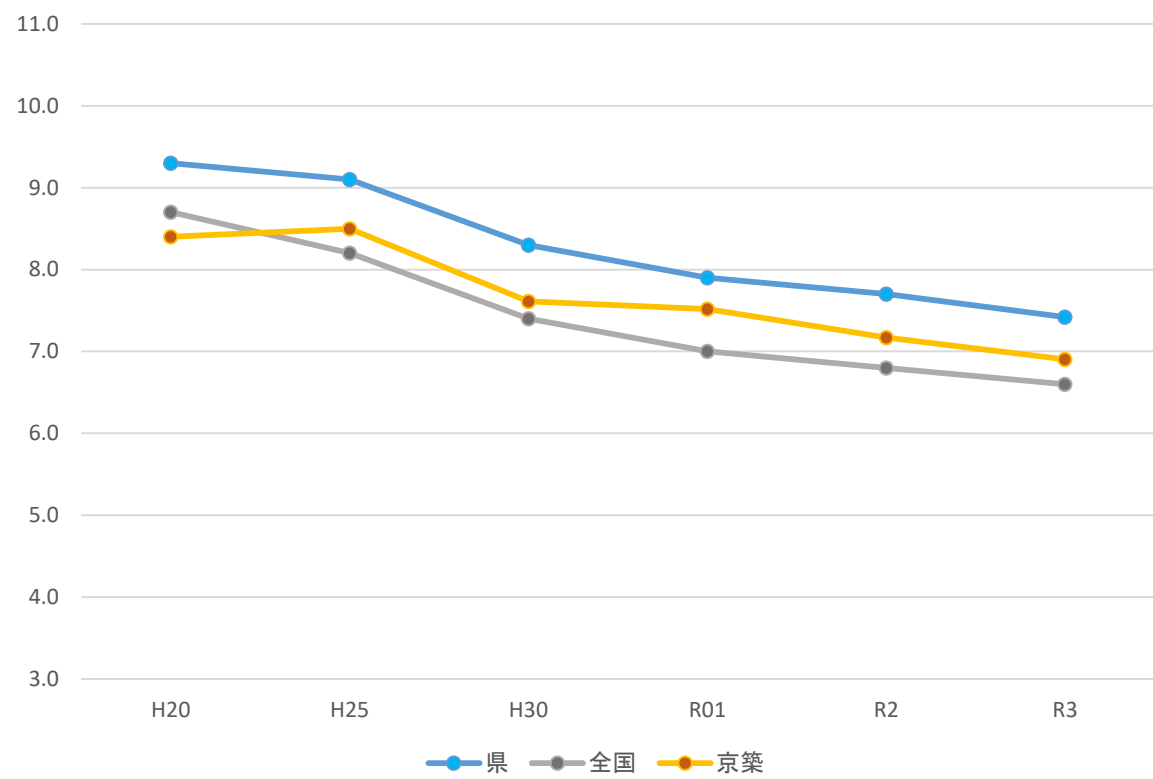
【通学】 北九州市小倉南区：253人、田川市：79人、北九州市小倉北区：54人
(35. 7%) (11. 2%) (7. 6%)

表5) 産業別昼夜間人口

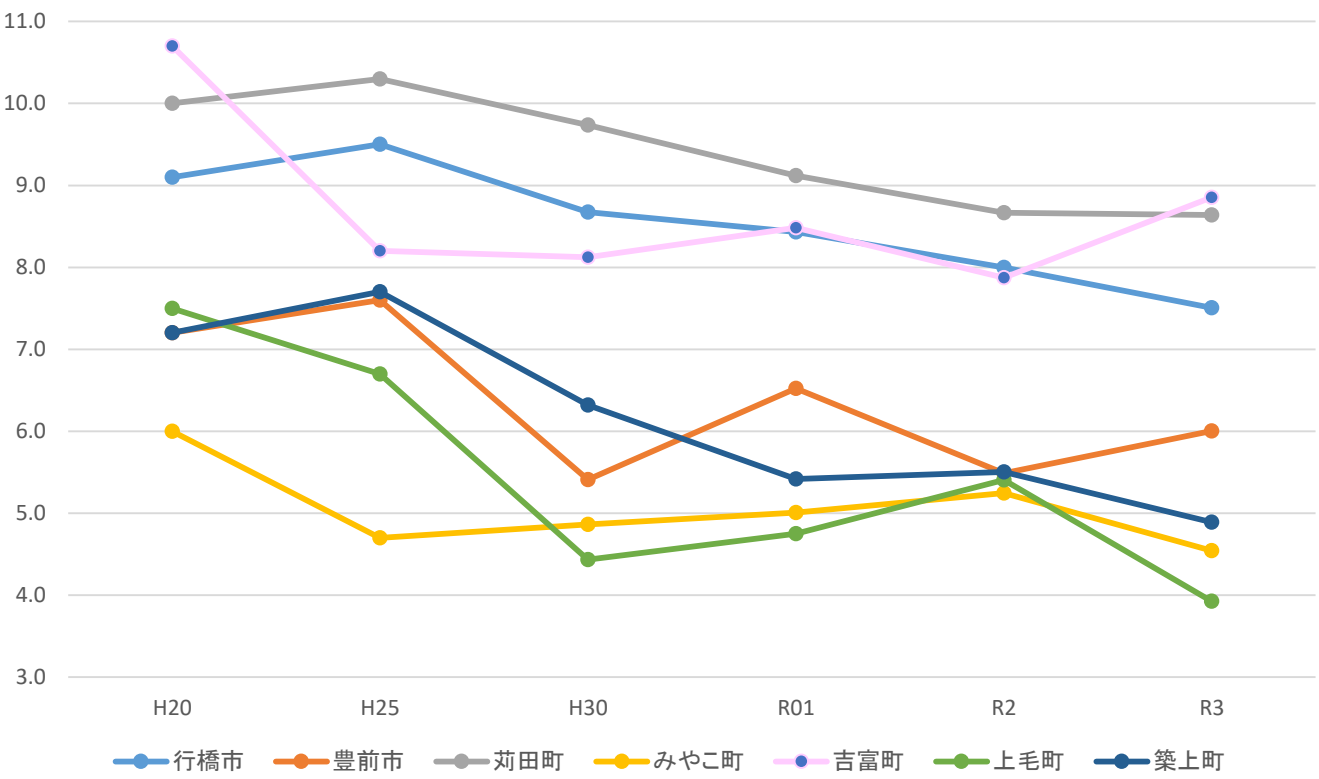


産業別でみると、製造業が最も多く、次いで、医療・福祉が多くなっている。

● 全国・県・京築区域の比較



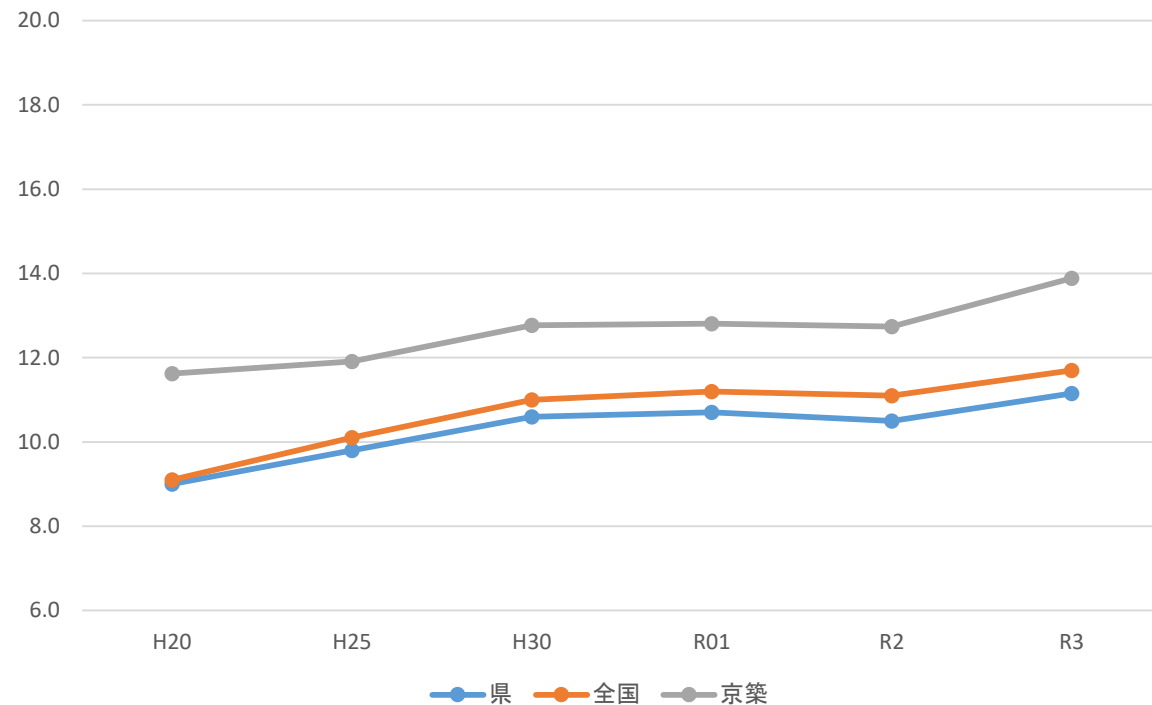
● 京築区域各市町の比較



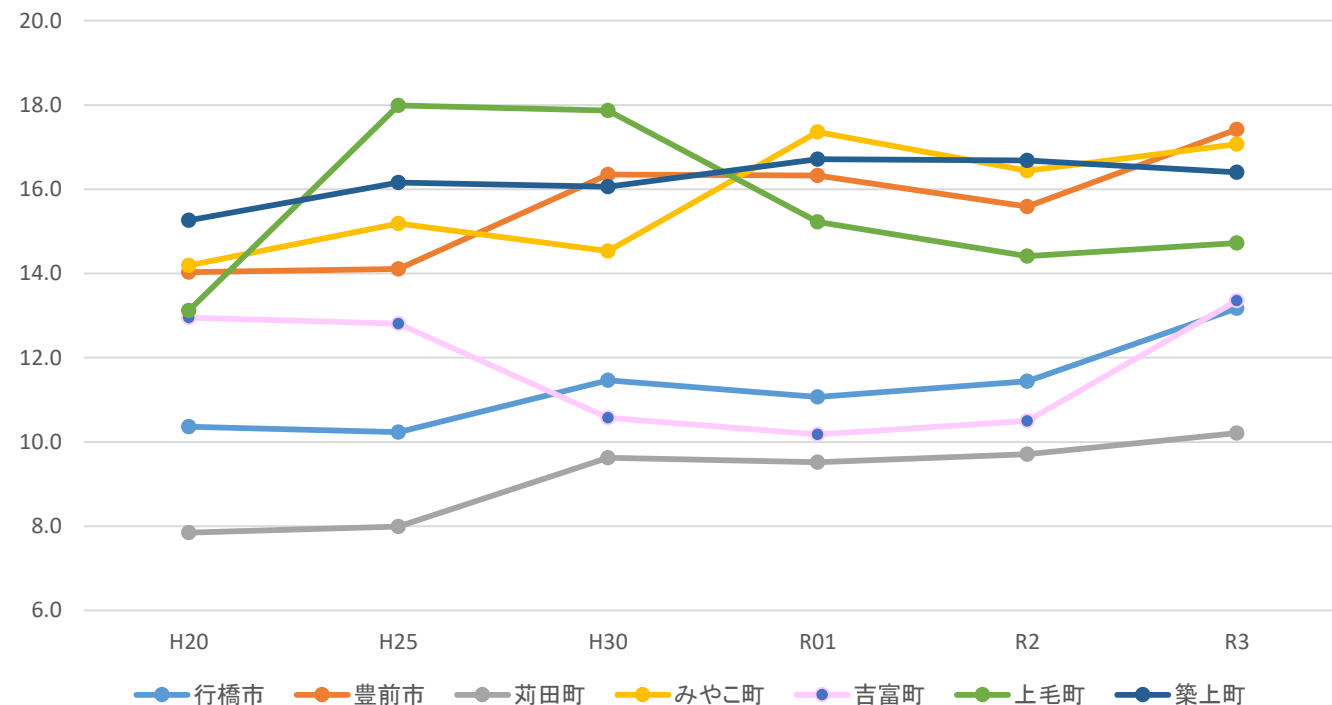
- ・ 出生率（人口千対）は、総人口、生産年齢人口の減少もあり、全国、福岡県、京築区域ともに減少傾向となっている
- ・ 市町別で見ると、年度ごとに増減はあるものの、概ね減少傾向となっている。
- ・ 県平均よりも高い市町は、行橋市、苅田町、吉富町で、県平均より低い市町は、豊前市、みやこ町、上毛町、築上町であった。

4. 死亡率の状況（福岡県保健統計年報）

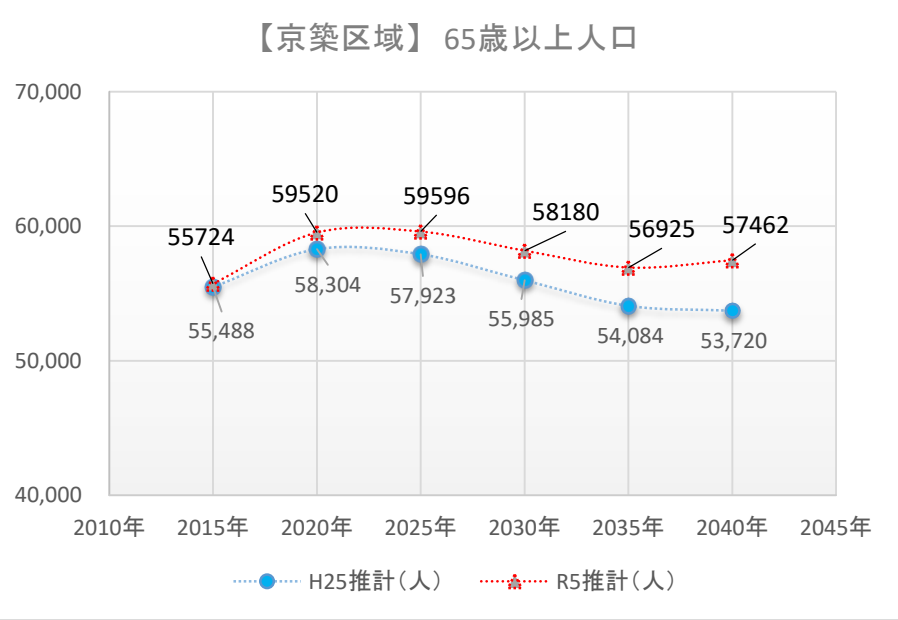
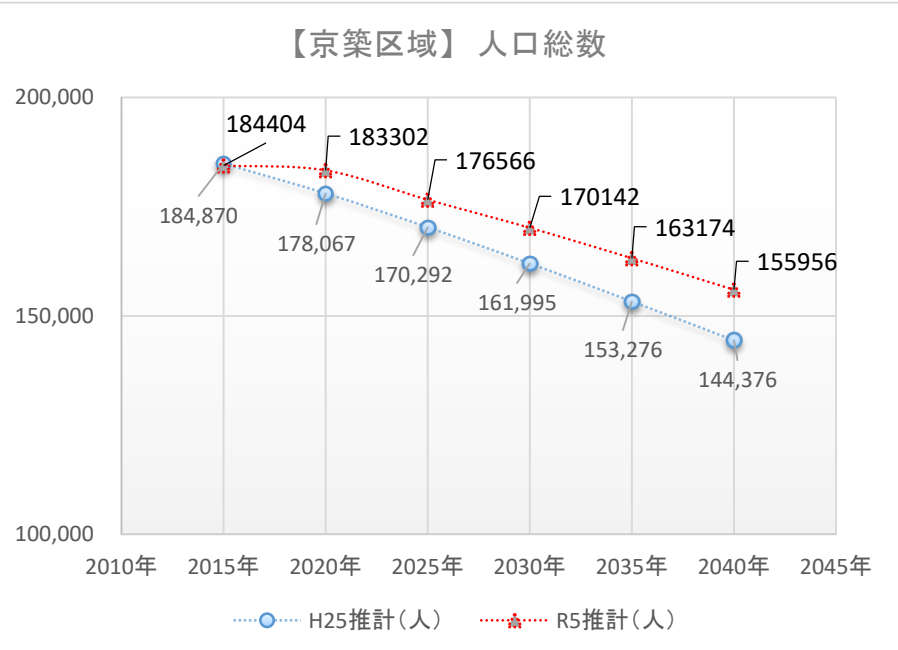
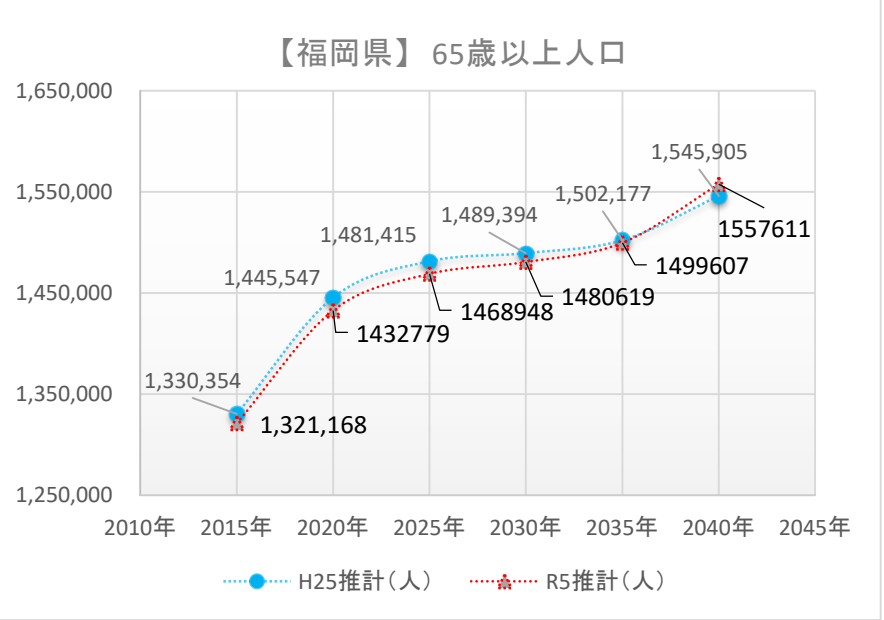
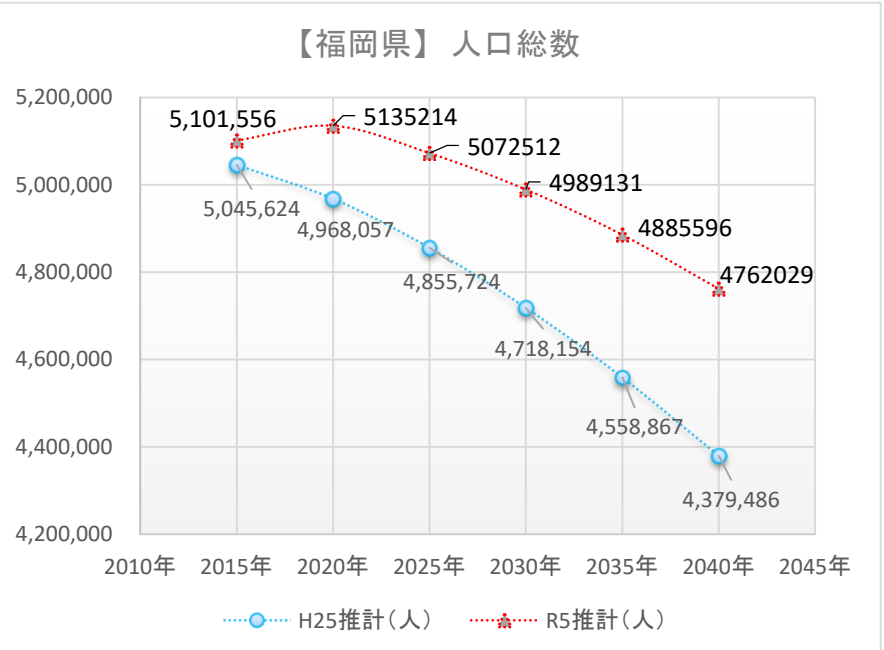
● 全国・県・京築区域の比較



● 京築区域各市町の比較



- ・ 死亡率（人口千対）は、老年人口の増加もあり、全国、福岡県、京築区域ともに増加傾向となっている
- ・ 特に、京築区域は、老年人口の割合が全国、福岡県と比較して高いため、死亡率も高くなっているものと思料
- ・ 市町別をみると、各市町で異なった動きをしているが、概ね、増加傾向にあるものと思料
- ・ 県平均よりも死亡率が低い市町は、苅田町のみであった



人口総数については、地域医療構想策定当時の推計（H25）と最新の推計（R5）を比べると、以下の状況が読み取れる

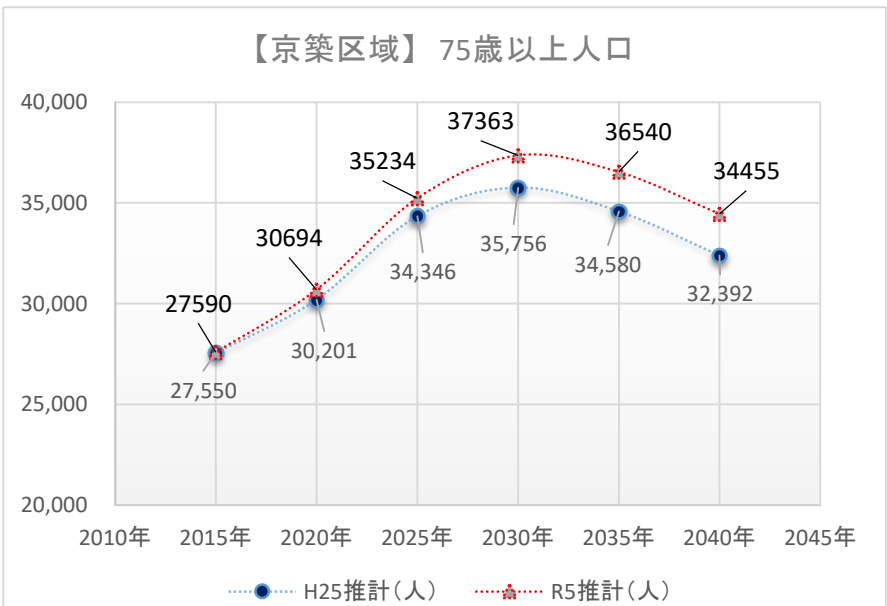
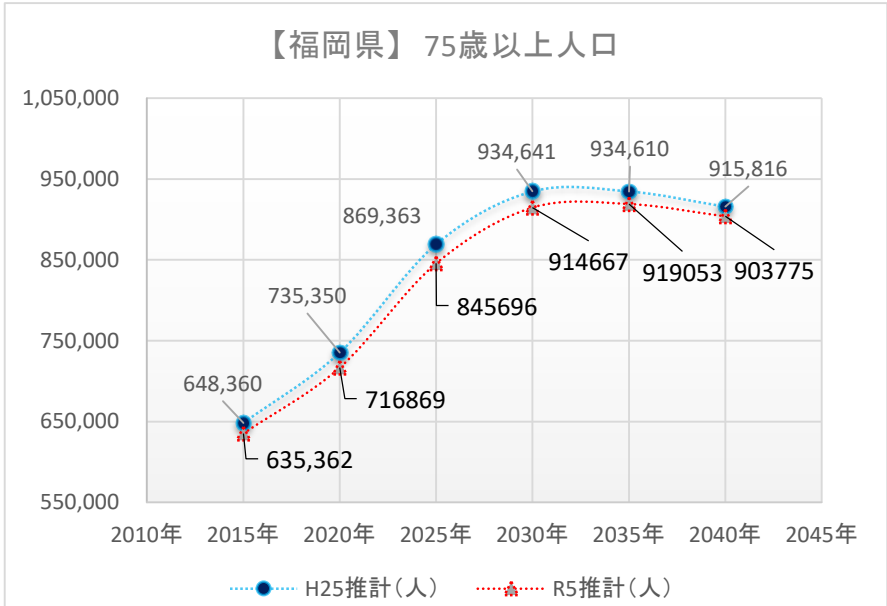
【福岡県全体】
当初の推計では、2015年以降現状する見込みであったが、R5推計では、2020年をピークに緩やかに減少する見込み

【京築区域】
当初推計と同様の傾向であるが、当初推計よりも若干緩やかに推移する見込み

65歳以上人口については、以下の状況が読み取れる

【福岡県全体】
当初の推計と概ね同様の傾向で推移する

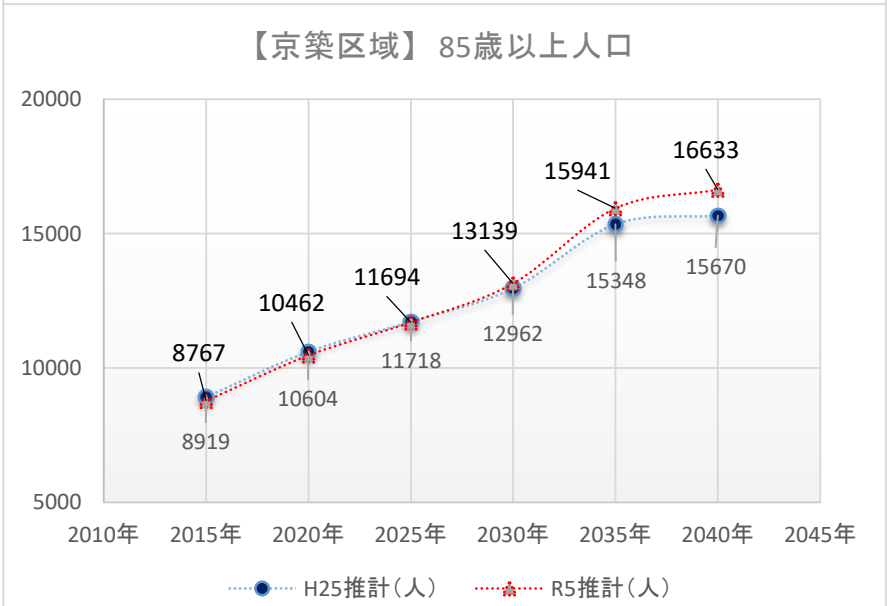
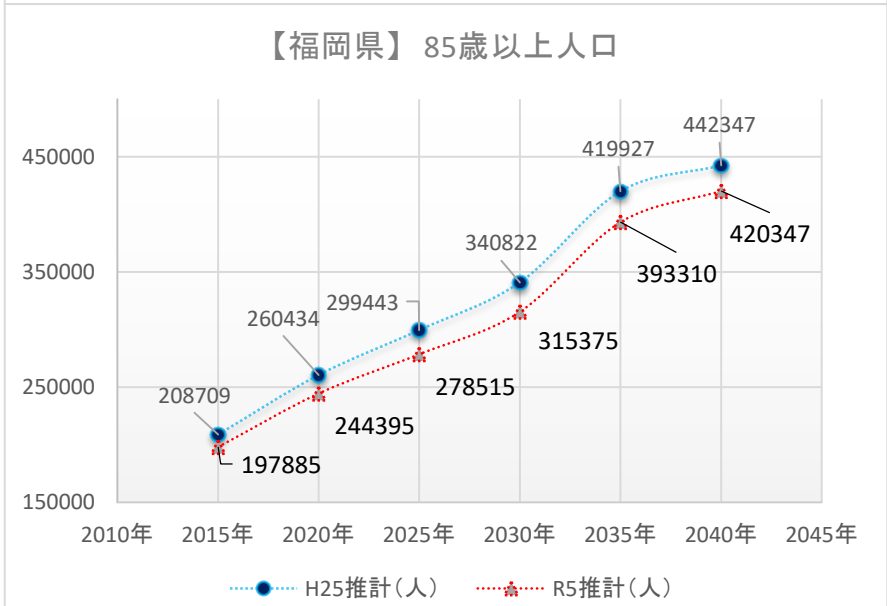
【京築区域】
当初推計と同様の傾向で推移するが、数そのものは増加する見込み



75歳以上人口については、以下の状況が読み取れる

【福岡県全体】
当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、数そのものは減少する見込み

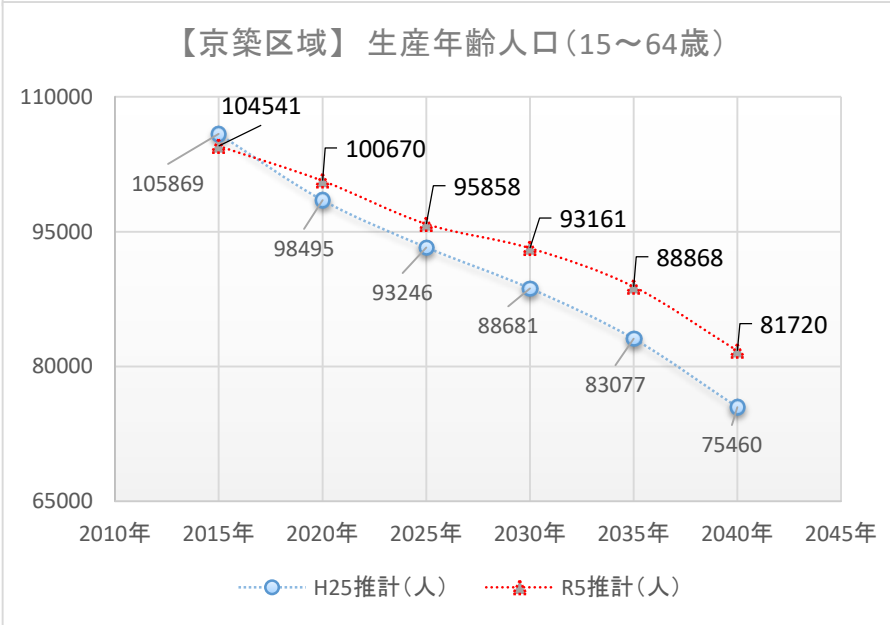
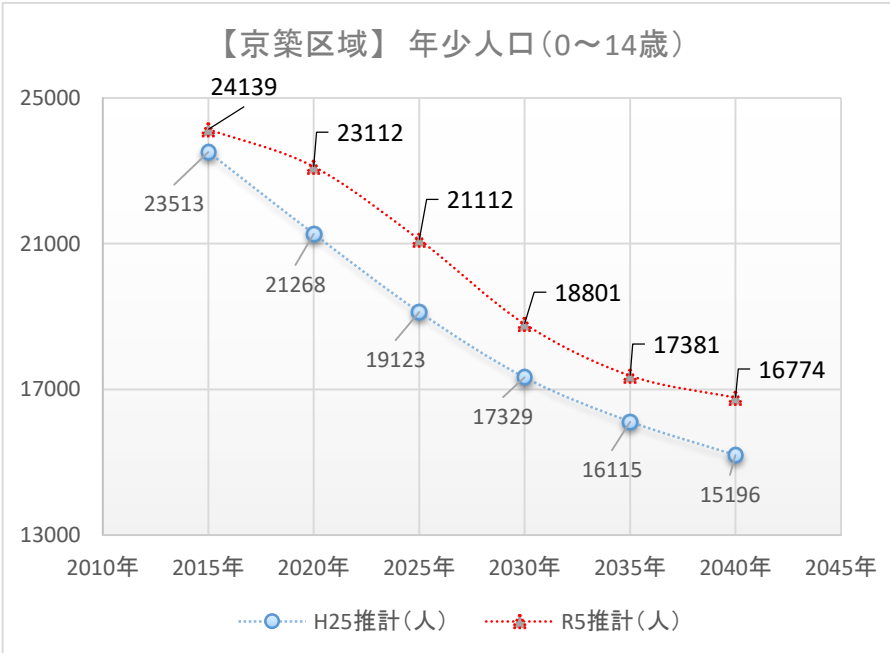
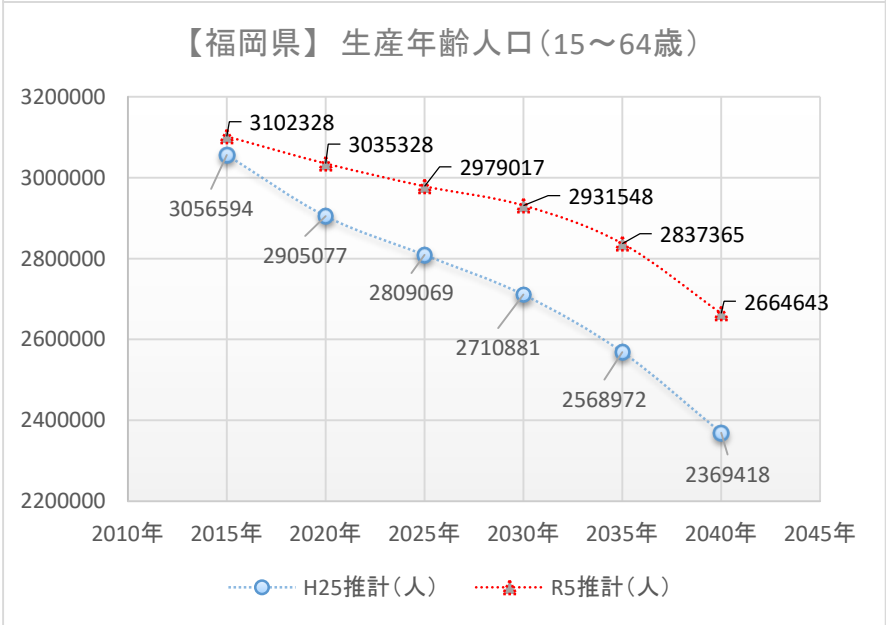
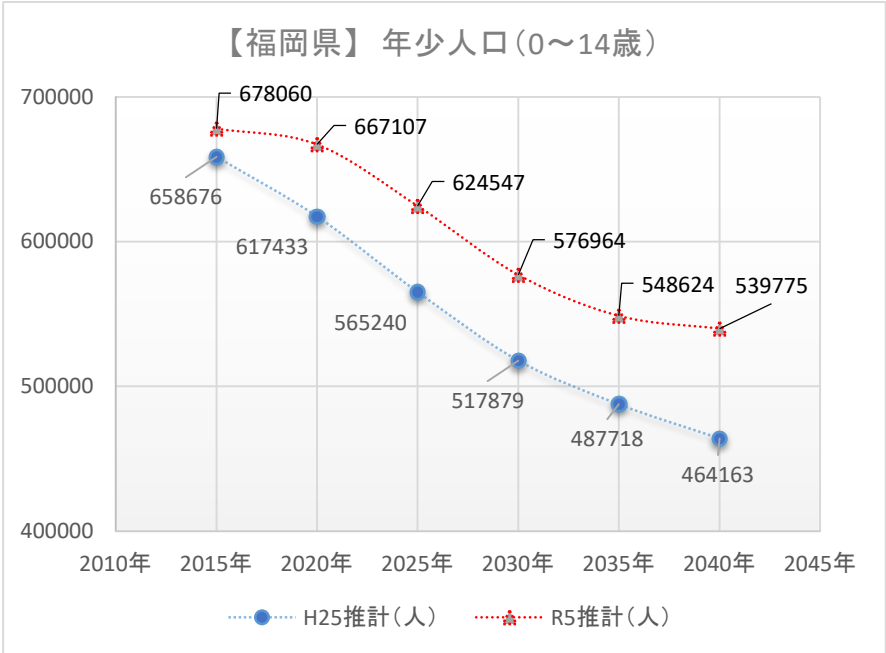
【京築区域】
当初推計と同様の傾向で推移するが、数そのものは増加する見込み



85歳以上人口については、以下の状況が読み取れる

【福岡県全体】
当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、数そのものは減少する見込み

【京築区域】
当初推計とほぼ同様の傾向で推移する見込み



年少人口については、以下の状況が読み取れる

【福岡県全体】
当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、数そのものは増加する見込み

またR5推計では、2040年にかけて減少のカーブが緩やかになる見込み

【京築区域】
当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、数そのものは増加する見込み

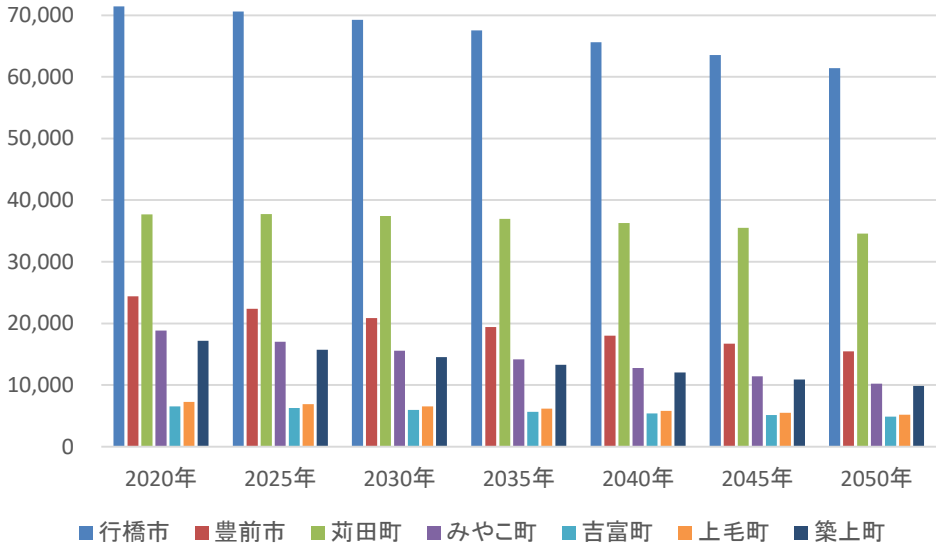
生産年齢人口については、以下の状況が読み取れる

【福岡県全体】
当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、数そのものは増加する見込み

【京築区域】
当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、数そのものは増加する見込み

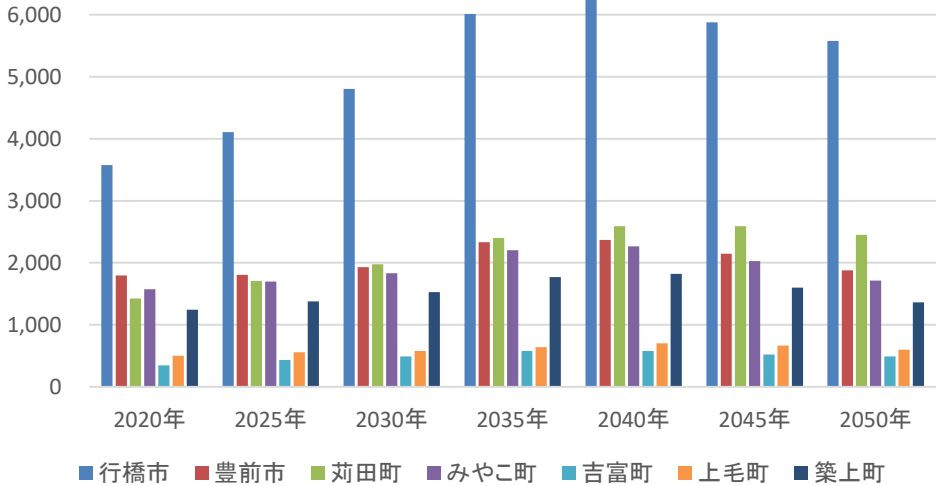
総数	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	減少率 (20→50)
行橋市	71,426	70,614	69,244	67,561	65,631	63,527	61,430	14.0%
豊前市	24,391	22,344	20,876	19,421	18,019	16,685	15,453	36.6%
苅田町	37,684	37,734	37,442	36,958	36,299	35,489	34,551	8.3%
みやこ町	18,825	16,993	15,564	14,142	12,743	11,418	10,206	45.8%
吉富町	6,536	6,251	5,962	5,667	5,397	5,130	4,875	25.4%
上毛町	7,251	6,913	6,532	6,143	5,807	5,492	5,185	28.5%
築上町	17,189	15,717	14,522	13,282	12,060	10,907	9,865	42.6%
	183,302	176,566	170,142	163,174	155,956	148,648	141,565	22.8%

- ・いずれの市町も2050年に向けて減少傾向であり、2020年から2050年の減少率は、圏域全体の人口総数で22.8%
- ・市町別でみると、苅田町は、減少率8.3%で最も低く、みやこ町は、45.8%と最も高い



85歳以上	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	増加率 (20→40)
行橋市	3,578	4,107	4,803	6,011	6,308	5,877	5,577	43.3%
豊前市	1,794	1,808	1,932	2,332	2,368	2,145	1,878	24.2%
苅田町	1,425	1,708	1,975	2,402	2,589	2,588	2,453	45.0%
みやこ町	1,576	1,697	1,830	2,202	2,266	2,028	1,714	30.5%
吉富町	347	435	491	580	579	523	490	40.1%
上毛町	499	560	578	643	702	669	602	28.9%
築上町	1,243	1,379	1,530	1,771	1,821	1,599	1,361	31.7%
	10,462	11,694	13,139	15,941	16,633	15,429	14,075	37.1%

- ・いずれの市町も2040年にピークを迎え、その後減少していく
- ・増加率（2020→2040）を市町別でみると、行橋市、苅田町、吉富町が40%を超えており、その他の市町も20%を超える結果となっている



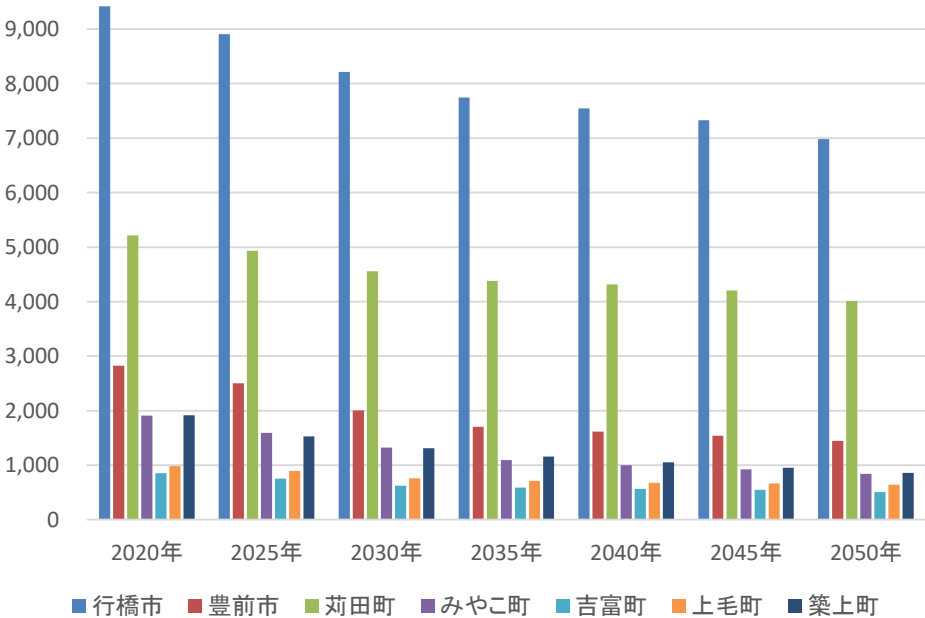
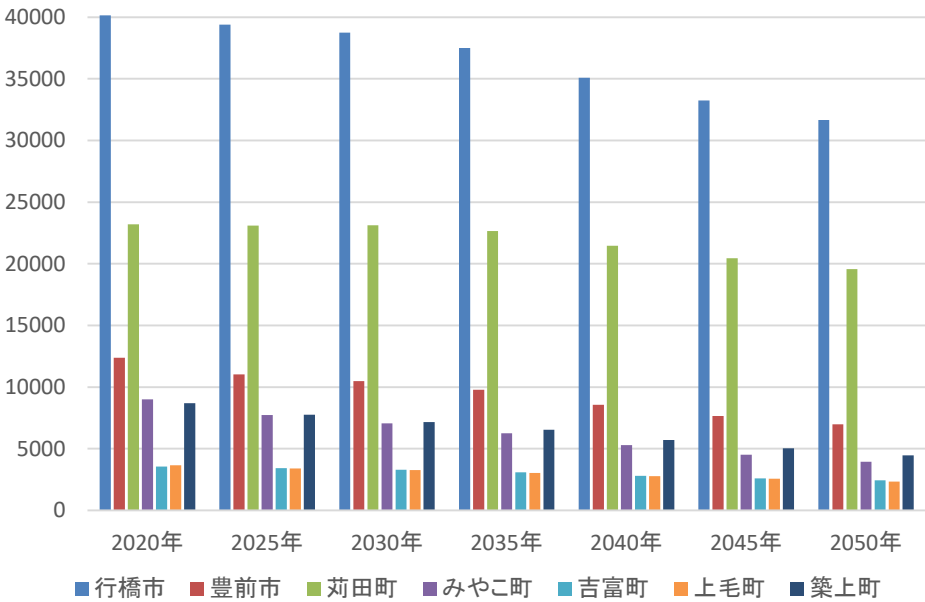
6. 将来推計人口の推移（市町村別）

生産年齢人口 15～64歳	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	減少率 (20→50)
行橋市	40160	39398	38746	37498	35077	33257	31665	21.2%
豊前市	12389	11025	10492	9778	8580	7649	6981	43.7%
苅田町	23213	23097	23128	22660	21468	20450	19562	15.7%
みやこ町	9001	7739	7054	6264	5289	4521	3961	56.0%
吉富町	3562	3417	3300	3085	2807	2597	2431	31.8%
上毛町	3651	3413	3266	3049	2787	2566	2335	36.0%
築上町	8694	7769	7175	6534	5712	5035	4470	48.6%
	100,670	95,858	93,161	88,868	81,720	76,075	71,405	29.1%

- ・ いずれの市町も2050年に向けて減少傾向であり、2020年から2050年の減少率は、人口総数より大きい割合となっている
- ・ 市町別でみると、みやこ町が50%を超えており、豊前市、築上町が40%台であった

年少人口 15歳未満	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	減少率 (20→50)
行橋市	9,417	8,909	8,214	7,742	7,547	7,325	6,984	25.8%
豊前市	2,825	2,504	2,006	1,705	1,617	1,541	1,447	48.8%
苅田町	5,212	4,934	4,557	4,381	4,314	4,207	4,013	23.0%
みやこ町	1,907	1,590	1,324	1,092	999	923	839	56.0%
吉富町	854	753	626	589	568	546	505	40.9%
上毛町	984	892	762	712	679	664	642	34.8%
築上町	1,913	1,530	1,312	1,160	1,050	953	860	55.0%
	23,112	21,112	18,801	17,381	16,774	16,159	15,290	33.8%

- ・ いずれの市町も2050年に向けて減少傾向であり、2020年から2050年の減少率は、人口総数より大きい割合となっている
- ・ 市町別でみると、みやこ町、築上町が50%を超えており、行橋市、苅田町が20%台であった



7. S C Rの状況① (S C Rが100以上の項目の割合)

Standardized Claim-data Ratio : レセプト上に現れる各診療行為の算定回数を、都道府県の年齢構成の違いを調整し、出現比として指数化したもの
全国平均と同じ診療回数が行われた場合には指数が100となる

(県全体)				(京 築)			
	入院	外来	入院+外来		入院	外来	入院+外来
A 基本診療科	81.3%	42.9%	20.0%	A 基本診療科	34.5%	0.0%	0.0%
B 医学管理等	91.7%	46.2%	60.0%	B 医学管理等	11.1%	11.1%	0.0%
C 在宅医療	54.5%	42.9%	40.6%	C 在宅医療	8.7%	6.5%	0.0%
D 検査	66.9%	34.8%	46.0%	D 検査	4.8%	3.2%	2.1%
E 画像	100.0%	70.0%	70.0%	E 画像	0.0%	0.0%	0.0%
F 投薬	100.0%	25.0%	33.3%	F 投薬	0.0%	25.0%	33.3%
G 注射	62.5%	58.8%	78.6%	G 注射	0.0%	40.0%	30.0%
H リハビリテーション	75.0%	62.5%	75.0%	H リハビリテーション	33.3%	40.0%	50.0%
I 精神	66.7%	61.5%	50.0%	I 精神	100.0%	83.3%	100.0%
J 処置	66.7%	46.7%	69.0%	J 処置	22.0%	19.0%	13.2%
K 手術	77.2%	51.3%	72.6%	K 手術	23.3%	6.9%	9.1%
L 麻酔	66.7%	35.7%	66.7%	L 麻酔	0.0%	44.4%	25.0%
M 放射線治療	100.0%	40.0%	100.0%	M 放射線治療	—	—	—
N 病理診断	100.0%	42.9%	85.7%	N 病理診断	20.0%	0.0%	0.0%

- S C Rが100以上の項目数は、以下のとおり。(A～Nの全数)

〔県全体〕入院：548 (73.9%)、外来：237 (45.5%)、入院+外来：251 (60.5%)

〔京 築〕入院：46 (16.9%)、外来：37 (12.3%)、入院+外来：28 (10.1%)

- A～Nの分野ごとに見ると、京築区域では「精神」が突出して高いが、それ以外は入院、外来ともに低い割合が目立つ。
(各分野ごとに、100を下回る項目数が多い)

※データが公開されていないものについては「—」標記
(対象医療機関数が3未満の場合は非公開)

7. S C Rの状況② (S C Rが90未満の割合)

Standardized Claim-data Ratio : レセプト上に現れる各診療行為の算定回数を、都道府県の年齢構成の違いを調整し、出現比として指数化したもの
全国平均と同じ診療回数が行われた場合には指数が100となる

(県全体)	入院	外来	入院+外来
A 基本診療科	10.9%	57.1%	40.0%
B 医学管理等	8.3%	46.2%	30.0%
C 在宅医療	30.3%	36.7%	37.5%
D 検査	25.0%	51.5%	37.1%
E 画像	0.0%	20.0%	20.0%
F 投薬	0.0%	75.0%	33.3%
G 注射	37.5%	29.4%	14.3%
H リハビリテーション	25.0%	25.0%	25.0%
I 精神	33.3%	30.8%	37.5%
J 処置	23.5%	41.1%	22.5%
K 手術	14.2%	38.2%	17.0%
L 麻酔	26.7%	57.1%	33.3%
M 放射線治療	0.0%	40.0%	0.0%
N 病理診断	0.0%	28.6%	0.0%

(京築)	入院	外来	入院+外来
A 基本診療科	58.6%	66.7%	100.0%
B 医学管理等	88.9%	77.8%	88.9%
C 在宅医療	91.3%	83.9%	92.0%
D 検査	92.8%	94.7%	94.8%
E 画像	100.0%	75.0%	100.0%
F 投薬	100.0%	75.0%	66.7%
G 注射	100.0%	60.0%	60.0%
H リハビリテーション	66.7%	60.0%	50.0%
I 精神	0.0%	16.7%	0.0%
J 処置	65.9%	72.4%	73.6%
K 手術	65.1%	82.8%	84.1%
L 麻酔	100.0%	55.6%	75.0%
M 放射線治療	—	—	—
N 病理診断	80.0%	100.0%	100.0%

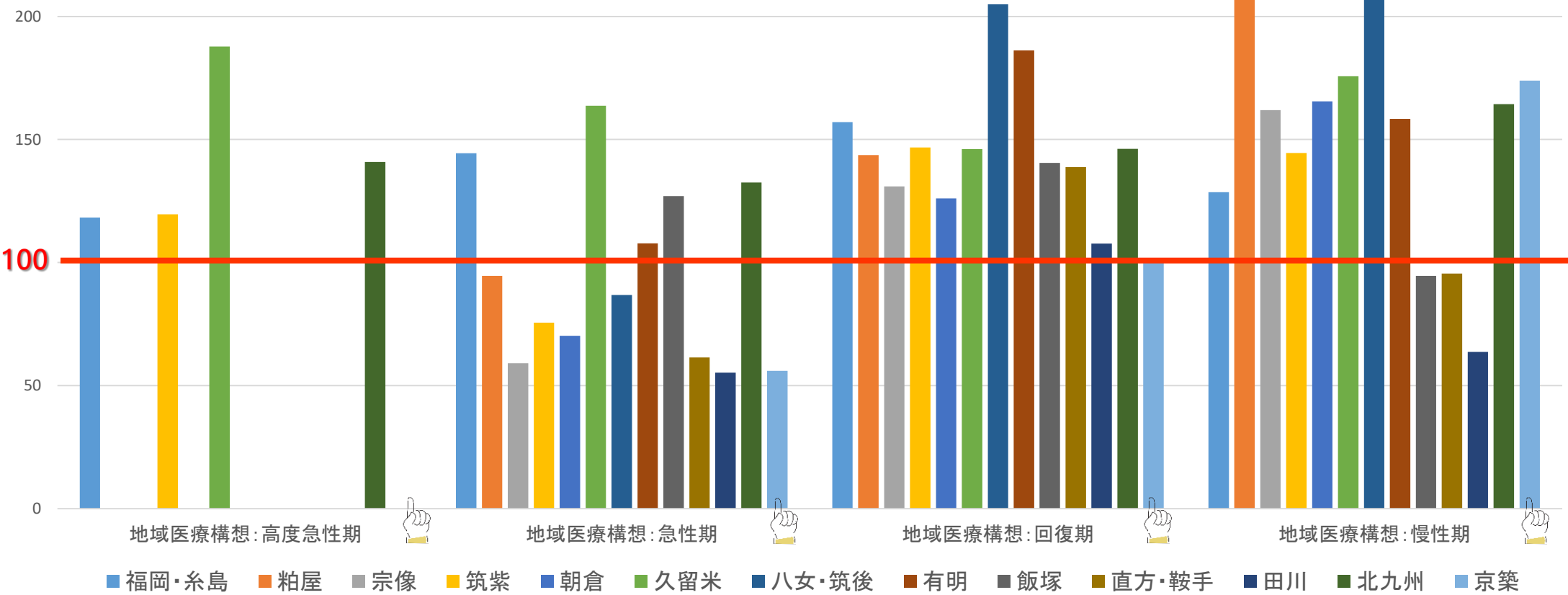
※データが公開されていないものについては「—」標記
(対象医療機関数が3未満の場合は非公開)

- ・ S C Rが90を下回る項目数は、以下のとおり。(A~Nの全数)
〔県全体〕入院：135 (18.2%)、外来：219 (42.0%)、入院+外来：111 (26.7%)
〔京 築〕入院：212 (77.9%)、外来：244 (81.1%)、入院+外来：232 (83.8%)
- ・ 京築区域では、多くの分野で90を下回る項目が多い傾向がある。

※ 内閣府 令和3年度診療分・二次医療圏別診療行為特別集計（東北大学藤森教授）
（独自の指標を作成し、それぞれ関連する診療行為コードを集計し、数値化したもの）



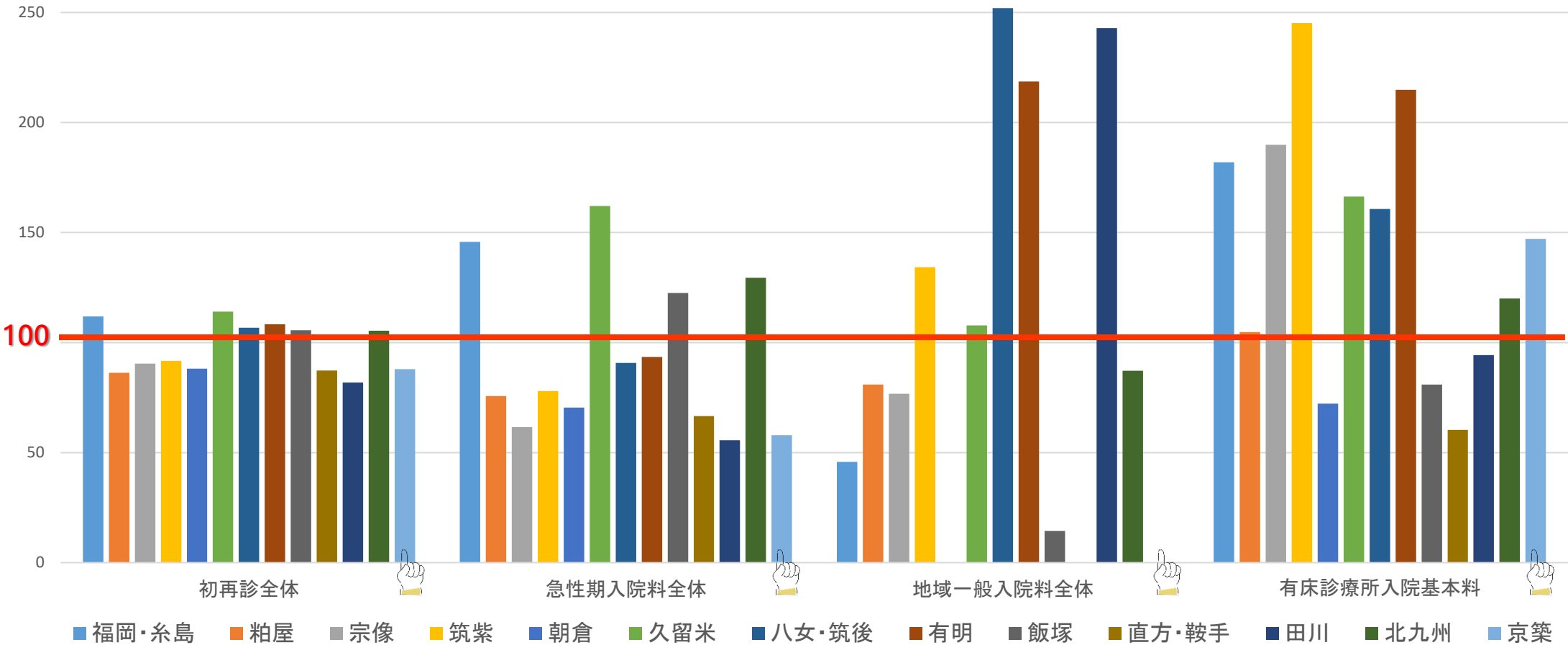
	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築
地域医療構想：高度急性期	118.3			119.6		187.8						140.9	
地域医療構想：急性期	144.4	94.6	59.1	75.6	70.2	163.7	86.8	107.8	127	61.4	55.2	132.5	56
地域医療構想：回復期	157.1	143.7	130.9	146.8	126.1	146.1	204.9	186.2	140.5	138.8	107.7	146.2	101.4
地域医療構想：慢性期	128.6	209	161.9	144.5	165.5	175.7	210.1	158.4	94.6	95.5	63.7	164.4	173.9



※ 内閣府 令和3年度診療分・二次医療圏別診療行為特別集計（東北大学藤森教授）
（独自の指標を作成し、それぞれ関連する診療行為コードを集計し、数値化したもの）



	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築
初再診全体	111.9	86.3	90.4	91.7	88.1	114.1	106.7	108.3	105.6	87.3	81.9	105.4	87.9
急性期入院料全体	145.8	75.7	61.6	78	70.5	162.1	90.7	93.5	122.5	66.6	55.6	129.4	57.9
地域一般入院料全体	45.8	80.9	76.7	134.3		107.8	252	218.6	14.4		242.9	87.2	
有床診療所入院基本料	181.9	104.8	189.9	245.2	72.2	166.4	160.7	214.9	80.9	60.3	94.3	120	147.1

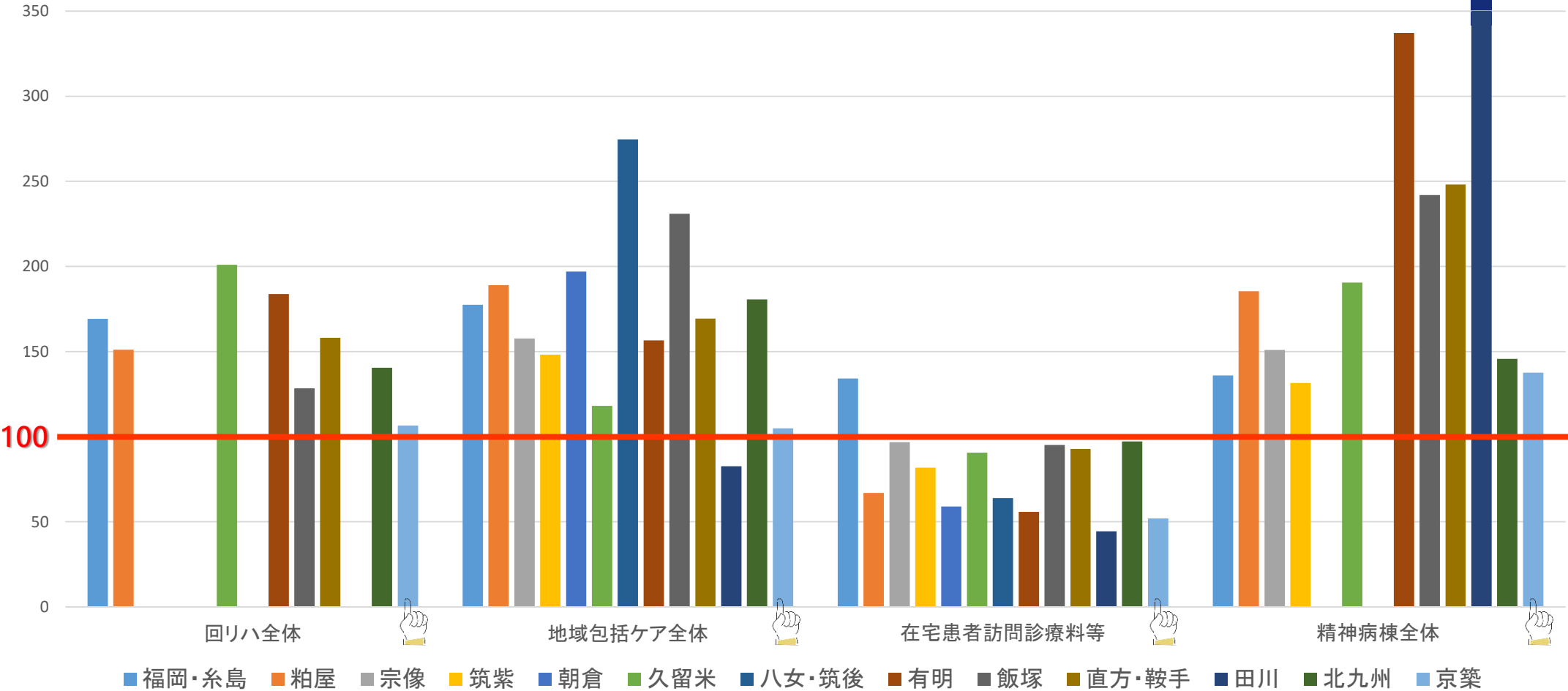


7. S C Rの状況⑤ (各圏域ごとの比較)

※ 内閣府 令和3年度診療分・二次医療圏別診療行為特別集計（東北大学藤森教授）
（独自の指標を作成し、それぞれ関連する診療行為コードを集計し、数値化したもの）



	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築
回りハ全体	169.2	151				201		183.8	128.4	158		140.5	106.5
地域包括ケア全体	177.5	189	157.6	148.1	197	118	274.6	156.6	230.9	169.4	82.6	180.6	104.8
在宅患者訪問診療料等	134.2	66.9	96.8	81.8	58.9	90.5	63.9	55.8	95.1	92.8	44.4	97.2	51.9
精神病棟全体	135.9	185.4	150.9	131.5		190.5		337.2	242	248.1	639.4	145.7	137.6

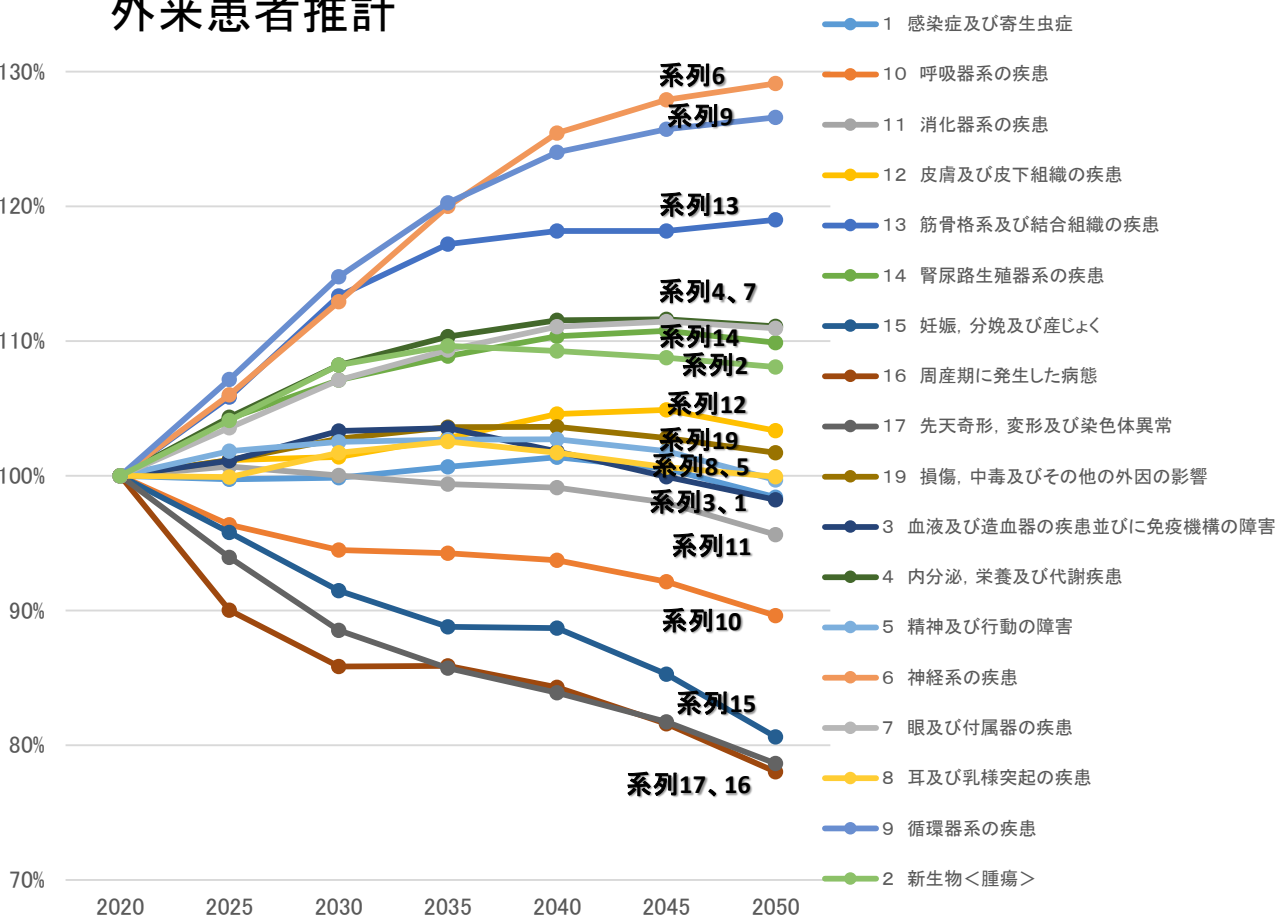


【外来患者推計】

神経系、循環器系、筋骨格系については、2050年頃まで増加が続くが、周産期、妊娠・分娩、呼吸器系、消化器系は減少していく見込み。
それ以外については、2040～2045年をピークに減少していく見込み。



外来患者推計



● 上位、下位の系列ごとに医師数（人）を当てはめてみると…

上位

- 系列 6〔神経系〕
→ 脳神経外科（9）、脳神経内科（3）
- 系列 9〔循環器系の疾患〕
→ 循環器内科（12）
- 系列 13〔筋骨格系及び結合組織の疾患〕
→ 整形外科（29）、外科（17）、リウマチ科（1）

現在の体制で今後の患者推計に対応できるか
該当する診療科目の医師がいない市町はどうするか

下位

- 系列 16〔周産期に発生した病態〕
- 系列 15〔妊娠、分娩及び産じょく〕
→ 産婦人科（4）、婦人科（2）
- 系列 10〔呼吸器系の疾患〕
→ 呼吸器内科（7）、呼吸器外科（2）
- 系列 11〔消化器系の疾患〕
→ 消化器内科（7）、消化器外科（1）

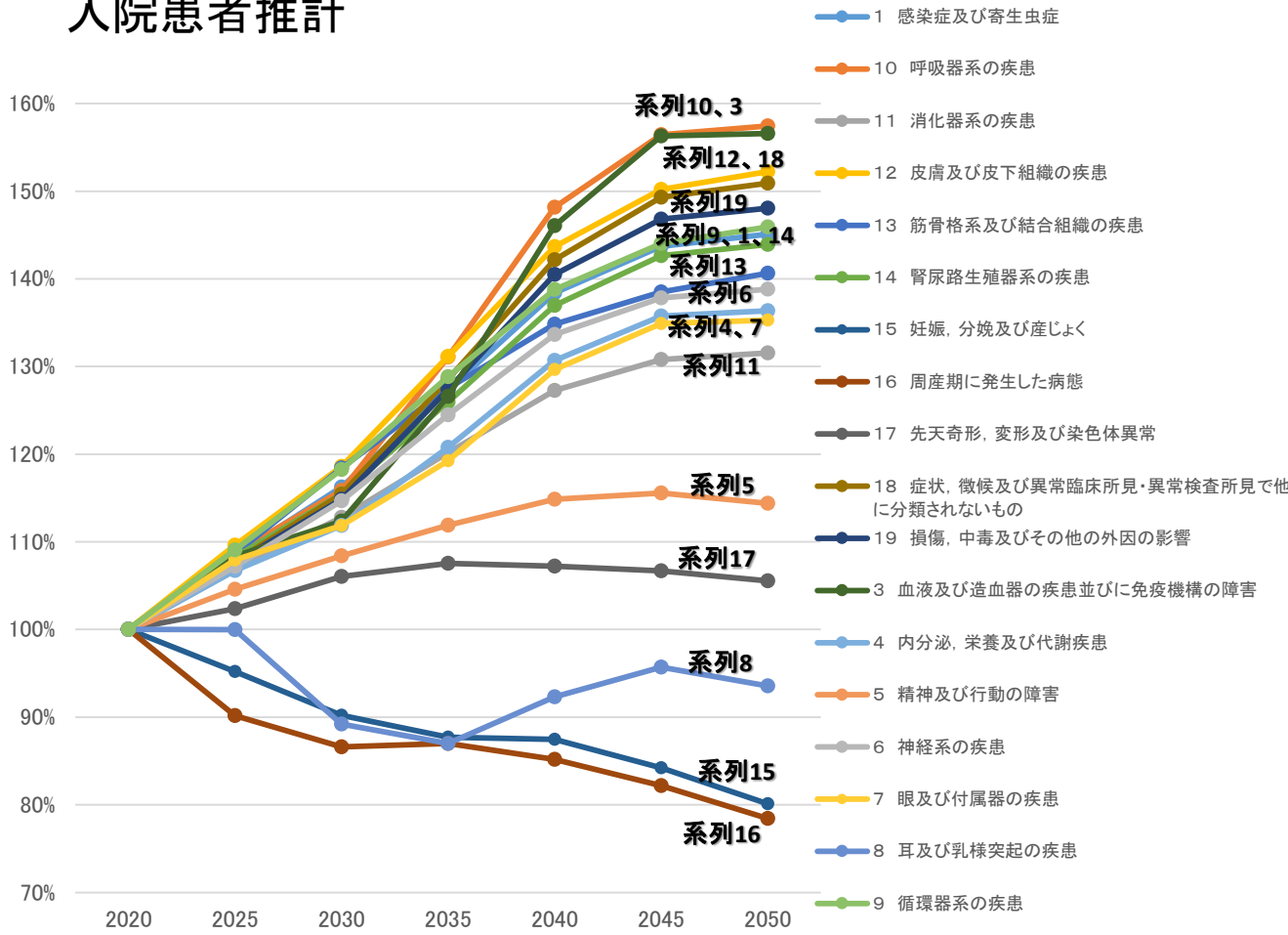
現在の状況として、体制は十分か
今後の患者推計に対して、過剰と考えるかどうか

【入院患者推計】

呼吸器、血液、皮膚、循環器、感染症、腎尿路、筋骨格、神経系、内分泌、眼科、消化器系は、2050年頃まで増加が続く見込み。
周産期、妊娠・分娩系は、減少していく見込み。



入院患者推計



● 上位、下位の系列ごとに医師数（人）を当てはめると…

上位

- 系列10〔呼吸器系の疾患〕
→ 呼吸器内科（7）、呼吸器外科（2）
- 系列3〔血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害〕
→ 心臓血管外科（1）
- 系列12〔皮膚及び皮下組織の疾患〕
→ 皮膚科（9）
- 系列9〔循環器系の疾患〕
→ 循環器内科（12）
- 系列1〔感染症及び寄生虫症〕
→
- 系列14〔腎尿路生殖器系の疾患〕
→ 泌尿器科（6）
- 系列13〔筋骨格系及び結合組織の疾患〕
→ 整形外科（29）、外科（17）、リウマチ科（1）
- 系列6〔神経系〕
→ 脳神経外科（9）、脳神経内科（3）
- 系列4〔内分泌、栄養及び代謝疾患〕
→
- 系列7〔眼及び付属器の疾患〕
→ 眼科（10）
- 系列11〔消化器系の疾患〕
→ 消化器内科（7）、消化器外科（1）

現在の体制で今後の患者推計に対応できるか
該当する診療科目の医師がいない疾患について、現状どのように対応しているのか

下位

- 系列16〔周産期に発生した病態〕
- 系列15〔妊娠、分娩及び産じょく〕
→ 産婦人科（4）、婦人科（2）

現在の状況として、体制は十分か

		医師数	人口10万人当たり
行橋市		137	193.1
	病院 診療	83 54	117.0 76.1
豊前市		36	152.7
	病院 診療	13 23	55.1 97.6
苅田町		63	165.3
	病院 診療	40 23	104.9 60.3
みやこ町		13	72.1
	病院 診療	8 5	44.4 27.7
吉富町		12	186.5
	病院 診療	5 7	77.7 108.8
上毛町		4	56.7
	病院 診療	0 4	0.0 56.7
築上町		19	114.5
	病院 診療	3 16	18.1 96.4
京築 計		284	157.1
	病院 診療	152 132	84.1 73.0
福岡県 計		15,968	312.1
	病院 診療	11,025 4,943	215.5 96.6

		医師偏在指標		
		数値	県内順位	全国順位
医師全体	福岡県	313.3	—	3/47
	直方・鞍手	184.4	12/13	205/330
	田川	197.4	11/13	171/330
	北九州	301.6	4/13	38/330
	京築	151.6	13/13	288/330
産科	福岡県	11.0	—	12/47
	福岡	10.4	3/4	94/258
	筑後	11.6	2/4	71/258
	筑豊	8.7	4/4	147/258
	北九州	12.7	1/4	53/258
小児科	福岡県	122.0	—	16/47
	直方・鞍手	81.5	12/13	251/303
	田川	119.8	6/13	103/303
	北九州	132.7	2/13	58/303
	京築	40.8	13/13	302/303

福岡県医師確保計画(令和6年3月)「医師偏在指標及び県内・全国順位から抜粋

- ・人口10万人当たりの医師数で100を切っているのは、みやこ町、上毛町
- ・医師偏在指標を見ても、京築区域は、本県唯一の医師少数区域
- ・特に小児科については、全国順位でもワースト2





・診療所開設者の年齢ピラミッドをみると、どの区域も「60-64」「65-69」が最も多い、ボリュームゾーンとなっている

・医師不足や後継者確保（継承）の困難さを鑑みると、10年後、20年後の体制を考えておく必要があるのではないか。



10. 医療従事者数〔医師・診療科①〕（令和2年「医師・歯科医師・薬剤師調査」）

25

※ 各診療科の多い順に記載

	内科	整形外科	精神科	外科	循環器内科	臨床研修医	眼科	救急科	脳神経外科
行橋市	32	11	12	6	7	12	6	5	8
豊前市	11	3	10	0	0	0	2	0	0
苅田町	16	12	1	7	2	0	2	4	1
みやこ町	8	0	0	1	2	0	0	0	0
吉富町	4	1	1	0	1	0	0	0	0
上毛町	3	0	0	1	0	0	0	0	0
築上町	11	2	0	2	0	0	0	0	0
計	85	29	24	17	12	12	10	9	9

	皮膚科	小児科	耳鼻いんこう科	呼吸器内科	消化器内科 (胃腸内科)	糖尿病内科 (代謝内科)	泌尿器科	産婦人科	脳神経内科
行橋市	5	3	4	2	2	6	3	3	1
豊前市	1	1	2	1	0	1	2	1	0
苅田町	2	2	2	4	1	0	1	0	0
みやこ町	0	0	0	0	1	0	0	0	1
吉富町	0	2	0	0	2	0	0	0	1
上毛町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
築上町	1	0	0	0	1	0	0	0	0
計	9	8	8	7	7	7	6	4	3

※ スライド19・20を基に、今後患者が増えていく見込みの診療科（入院・外来）には 、減少していく見込みには  を付けている



10. 医療従事者数〔医師・診療科②〕（令和2年「医師・歯科医師・薬剤師調査」）

※ 各診療科の多い順に記載

	リハビリ テーション科	婦人科	呼吸器外科	放射線科	麻酔科	消化器外科 (胃腸外科)	心臓血管外科	リウマチ科	乳腺外科
行橋市	2	0	1	1	2	0	1	1	0
豊前市	0	0	0	0	0	1	0	0	0
苅田町	1	1	1	1	0	0	0	0	1
みやこ町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
吉富町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上毛町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
築上町	0	1	0	0	0	0	0	0	0
計	3	2	2	2	2	1	1	1	1

	臨床検査科	その他	不詳
行橋市	1	0	0
豊前市	0	0	0
苅田町	0	1	0
みやこ町	0	0	0
吉富町	0	0	0
上毛町	0	0	0
築上町	0	0	1
計	1	1	1

- ・「公衆衛生等に係る医療の提供状況」（令和5年9月福岡県医療指導課）において、継承困難としている診療所の診療科目については、「内科」、「外科」、「小児科」等があった
- ・また、閉院を予定している診療所については、「胃腸内科」があった
- ・「福岡県外来医療計画」策定時の構想区域の主な意見として、「産婦人科が不足している」との意見もあった



※ スライド19・20を基に、今後患者が増えていく見込みの診療科（入院・外来）には 、減少していく見込みには  を付けている

1 1. 医療従事者数〔常勤医師①〕（令和4年度 病床機能報告）

	医療機関		医師数	常勤医師割合	(参考) 看護師数	(参考) 准看護師数	許可病床数					病床稼働率 ((在棟・在院患者延べ数 +退棟・退院患者数) / (許可病床数*365))	救急車 受入数
							高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中		
行橋市	新行橋病院		46	95. 7%	290. 9	21. 8	18	183	45	0	0	95. 0%	3, 654
		常勤	44		277	21							
		非常勤	2		13. 9	0. 8							
	医療法人敬愛会 新田原聖母病院		10	70. 0%	47. 4	13. 4	0	53	0	53	0	88. 5%	26
		常勤	7		45	12							
		非常勤	3		2. 4	1. 4							
	医療法人起生会 大原病院		10. 9	55. 0%	62. 7	14	0	36	30	35	0	86. 4%	20
		常勤	6		58	14							
		非常勤	4. 9		4. 7	0							
	医療法人森和会 行橋中央病院		5	100. 0%	32. 1	26. 1	0	98	0	50	0	56. 2%	0
		常勤	5		30	26							
		非常勤	0		2. 1	0. 1							
	行橋厚生病院		7. 6	52. 6%	11. 5	7	0	0	0	44	0	89. 5%	3
		常勤	4		11	7							
		非常勤	3. 6		0. 5	0							
	医療法人社団翠会 行橋記念病院		10. 9	91. 7%	111. 8	39. 2	0	0	0	60	0	93. 1%	0
		常勤	10		111	38							
		非常勤	0. 9		0. 8	1. 2							
	おおみや整形外科医院		2. 9	69. 0%	7. 7	3. 7	0	19	0	0	0	101. 7%	0
		常勤	2		4	2							
		非常勤	0. 9		3. 7	1. 7							
	医療法人正薫会 上垣脳神経外科医院		1. 2	83. 3%	0. 5	8	0	19	0	0	0	3. 0%	0
		常勤	1		0	5							
		非常勤	0. 2		0. 5	3							

救急告示



1 1. 医療従事者数〔常勤医師②〕（令和4年度 病床機能報告）

	医療機関	医師数	常勤医師割合	(参考) 看護師数	(参考) 准看護師数	許可病床数					病床稼働率 ((在棟・在院患者延べ数 +退棟・退院患者数) / (許可病床数*365))	救急車 受入数	
						高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中			
行橋市	医療法人行橋クリニッ ク		6	50. 0%	20	3	0	0	5	0	0	24. 5%	0
		常勤	3		20	3							
		非常勤	3		0	0							
	医療法人 立野レ ディースクリニック		1	100. 0%	5	6	0	11	0	0	0	50. 9%	4
		常勤	1		5	6							
		非常勤	0		0	0							
	しんもと産婦人科		1	100. 0%	3	7	0	13	0	0	0	20. 1%	3
		常勤	1		3	7							
		非常勤	0		0	0							
	医療法人惺光会 行橋南眼科		1. 1	90. 9%	2	1	0	5	0	0	0	0. 0%	0
		常勤	1		2	1							
		非常勤	0. 1		0	0							
	医療法人 尚医会 宮本眼科		1	100. 0%	3	1	0	4	0	0	0	18. 4%	0
		常勤	1		3	1							
		非常勤	0		0	0							
豊前市	医療法人社団豊和会 豊前病院		7	71. 4%	45. 1	41. 3	0	0	0	45	0	77. 3%	0
		常勤	5		44	37							
		非常勤	2		1. 1	4. 3							
	医療法人豊永会 久永内科皮膚科医院		2	100. 0%	4	4. 5	0	0	0	14	0	0. 2%	0
		常勤	2		4	3							
		非常勤	0		0	1. 5							
	重岡胃腸科外科医院		1	100. 0%	2. 4	6	0	18	0	0	0	12. 7%	0
		常勤	1		2	6							
		非常勤	0		0. 4	0							



1 1. 医療従事者数〔常勤医師③〕（令和4年度 病床機能報告）

	医療機関		医師数	常勤医師割合	(参考) 看護師数	(参考) 准看護師数	許可病床数					病床稼働率 ((在棟・在院患者延べ数 +退棟・退院患者数) / (許可病床数*365))	救急車 受入数
							高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中		
豊前市	医療法人和香会 ぶぜん眼科クリニック	常勤	1	100.0%	4	1	0	4	0	0	0	63.3%	0
		非常勤	0		3	0							
					1	1							
	みぞぐち泌尿器科クリ ニック	常勤	2.1	95.2%	7	3	0	4	0	0	0	3.2%	1
		非常勤	0.1		6	3							
					1	0							
苅田町	社会医療法人 陽明会 小波瀬病院	常勤	45.8	74.2%	233.9	10.9	0	166	100	0	0	90.0%	2,264
		非常勤	34		221	8							
			11.8		12.9	2.9							
	社会医療法人陽明会 御所病院	常勤	0	-	47	14	0	0	0	120	0	97.6%	0
		非常勤	0		47	14							
			0		0	0							
	健和会 京町病院	常勤	3.5	85.7%	47.3	2.8	0	0	0	112	0	97.4%	0
		非常勤	3		43	2							
			0.5		4.3	0.8							
みやこ町	京都病院	常勤	10.2	49.0%	44	21.5	0	0	58	116	0	91.9%	2
		非常勤	5		42	20							
			5.2		2	1.5							
吉富町	医療法人けやき会 東病院	常勤	6	66.7%	40.1	15.6	0	48	0	24	0	94.3%	85
		非常勤	4		36	14							
			2		4.1	1.6							
築上町	宮部病院	常勤	2.4	41.7%	7.3	13.7	0	0	0	44	0	100.5%	1
		非常勤	1		5	12							
			1.4		2.3	1.7							
	医療法人片山医院	常勤	1	100.0%	1.2	11.4	0	0	19	0	0	4.0%	5
		非常勤	1		1	9							
			0		0.2	2.4							

救急告示



●【地域の概要】

一人当たり医療費（国保）：415千円（偏差値59）

一人当たり介護給付費：250千円（偏差値46）

●【医療の現状】

病院数：14、人口10万人当たり7.6（偏差値53）

診療所数：84、人口10万人当たり84（偏差値51）

総医師数：401、人口10万人当たり219（偏差値41）

専門医数

小児科：6、人口10万人当たり3.3（偏差値34）

産婦人科：5、人口10万人当たり2.7（偏差値35）

総合内科：11、人口10万人当たり6.0（偏差値34）

看護師数：1,912、人口10万人当たり1,043（偏差値54）

●【介護施設や在宅ケアの現状】

高齢者施設・住宅定員数：3,569、75歳以上1,000人当たり116（偏差値62）

（うち、介護保険施設定員：2,102、75歳以上1,000人当たり68（偏差値59）

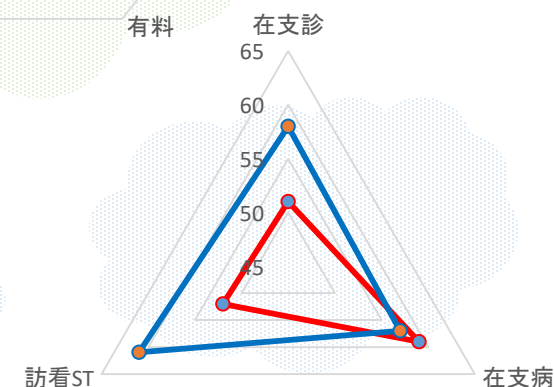
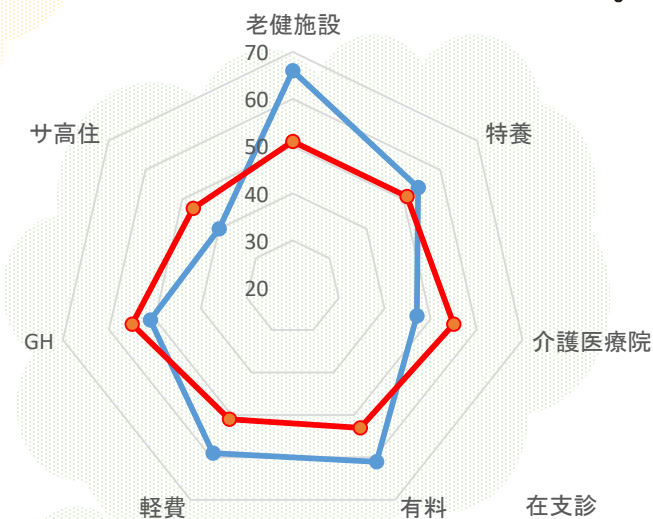
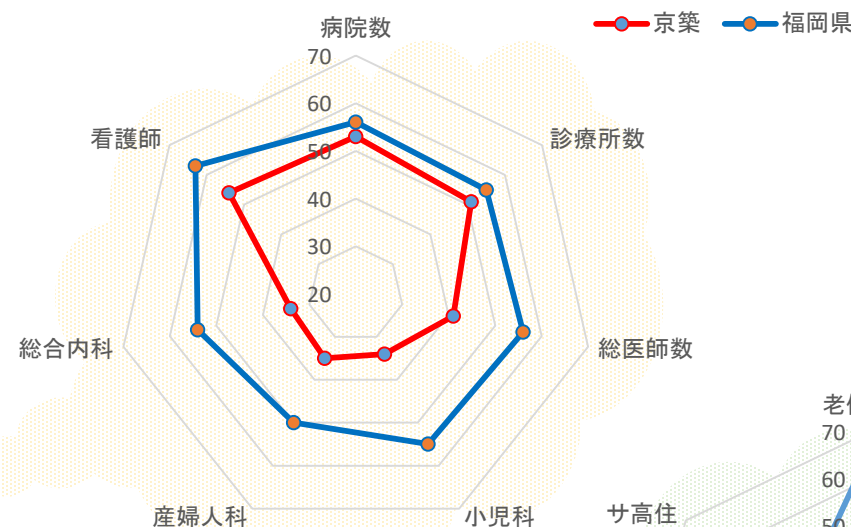
（うち、高齢者住宅定員：1,467、75歳以上1,000人当たり48（偏差値55）

介護職員数：2,252、75歳以上1,000人当たり73（偏差値52）

施設別定員数：老健施設906（偏差値66）、特養1,121（54）、介護医療院35（47）

（75歳以上1,000人当たり） 有料745（61）、軽費100（59）、GH377（51）、サ高住245（40）

在宅ケア（施設数）：在支診26（偏差値51）、在支病5（59）、訪看ST25（52）



● 医療施設数（H28→R4 推移）

		福岡県	直方・鞍手	田川	北九州	京 築
医療施設数等	病院	461→453	12→12	16→16	102→101	15→14
	一般診療所	4,654→4,801	103→99	108→116	1,062→1,041	160→159
	在宅療養支援診療所※1	783→755	19→18	13→16	188→176	28→22
	訪問看護ステーション※2	493→862	11→21	24→41	102→184	24→33

・厚生労働省「医療施設調査（平成28年、令和4年）」による（各年10月1日現在）

※1 在宅療養支援診療所数は、平成29年4月、令和5年4月現在診療報酬施設基準による

※2 訪問看護ステーションは、平成29年、令和5年4月1日現在の介護保険法に基づく指定数

● 小児科標榜医療機関数（H26→R2 推移）

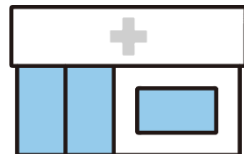
	医療機関数			小児人口 10万人対
		病院	診療所	
福岡県	361→361	96→97	265→264	53.4→55.9
直方・鞍手	10→11	3→3	7→8	74.3→86.4
田川	10→9	6→5	4→4	62.7→62.5
北九州	71→72	24→26	47→46	52.1→65.8
京 築	9→10	2→3	7→7	37.3→43.4

・厚生労働省「医療施設調査（平成26年、令和2年）」

● 分娩取扱医療機関数（H26→R2 推移）

	福岡県	直方・鞍手	田川	北九州	京 築
病院	34→32	0→0	2→2	10→10	0→0
診療所	88→79	1→1	0→0	18→15	4→3

・厚生労働省「医療施設調査（平成26年、令和2年）」



1 3. 医療介護資源の状況〔看護師数〕（日医総研ワーキングペーパー（2023年4月第6版））

● 看護師数（総数・病院看護師数・診療所看護師数） ※令和2年10月

二次医療圏	総看護師数	人口 10万当り	病院 看護師数	人口 10万当り	診療所 看護師数	人口 10万当り
福岡・糸島	20,608	1,204	15,650	915	4,958	290
粕屋	3,095	1,057	2,496	852	599	204
宗像	1,595	972	1,200	731	395	241
筑紫	3,520	801	2,567	584	953	217
朝倉	862	1,054	652	797	210	257
久留米	6,953	1,535	5,552	1,226	1,401	309
八女・筑後	1,831	1,415	1,407	1,087	424	327
有明	3,687	1,742	2,927	1,383	760	359
飯塚	2,903	1,661	2,340	1,340	562	322
直方・鞍手	1,234	1,178	952	909	282	270
田川	1,784	1,512	1,377	1,167	407	345
北九州	16,061	1,500	12,881	1,203	3,179	297
京築	1,912	1,043	1,379	752	533	291
福岡県	66,044	1,286	51,381	1,001	14,663	286
全国	1,164,671	923	918,226	728	246,444	195

厚生労働省「令和2年医療施設静態調査」

- ・ 総看護師数の人口10万当たりをみると、京築区域は、福岡県全体よりも低いものの、全国よりは多い状況となっている
- ・ 勤務場所別でみると、病院看護師は、県全体より低く、全国より多い状況
- ・ 診療所看護師は、県全体、全国よりも多いという状況であった



● 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護） ※令和4年5月 常勤換算

二次医療圏	介護サービス 従事看護師数	75歳以上 1,000人当り	看護師数 (施設)	75歳以上 1,000人当り	看護師数 (訪問)	75歳以上 1,000人当り
福岡・糸島	2,649	14.4	1,415	7.7	1,235	6.7
粕屋	557	16.8	445	13.4	112	3.4
宗像	227	9.5	162	6.8	65	2.7
筑紫	498	9.8	269	5.3	228	4.5
朝倉	151	10.8	114	8.2	37	2.6
久留米	796	11.9	416	6.2	380	5.7
八女・筑後	256	11.7	174	8	82	3.8
有明	469	11.5	360	8.9	109	2.7
飯塚	370	12.7	255	8.8	115	3.9
直方・鞍手	307	15.6	194	9.8	114	5.8
田川	394	17.4	220	9.7	175	7.7
北九州	1,883	10.5	1,179	6.6	704	3.9
京築	394	12.9	294	9.6	101	3.3
福岡県	8,952	12.5	5,497	7.7	3,455	4.8
全国	188,635	10.1	119,762	6.4	68,873	3.7

・ 介護サービス従事看護師数の75歳以上1,000人当たりの数値をみると、京築区域は、県全体、全国よりも多い状況となっている。

・ 75歳以上1,000人当たりの数値を勤務場所別でみると、介護施設は9.6と県全体、全国よりも多い状況となっており、

訪問看護は、3.3と県全体、全国よりも少ない状況となっている



厚生労働省「介護サービス情報公表システム」（令和4年5月）

●介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護） ※令和4年5月 常勤換算

二次医療圏	介護サービス 従事介護職員数	75歳以上 1,000人当り	介護職員数 (介護施設等)	75歳以上 1,000人当り	介護職員数 (在宅)	75歳以上 1,000人当り
福岡・糸島	16,014	87	13,038	71	2,976	16.2
粕屋	2,315	70	2,038	62	277	8.4
宗像	1,758	74	1,559	66	199	8.4
筑紫	3,653	72	3,131	62	523	10.3
朝倉	1,282	92	1,226	88	56	4
久留米	6,182	93	5,517	83	665	10
八女・筑後	2,199	101	1,964	90	235	10.8
有明	3,884	96	3,376	83	508	12.5
飯塚	2,833	97	2,361	81	472	16.2
直方・鞍手	2,005	102	1,753	89	252	12.8
田川	3,189	141	2,600	115	588	26
北九州	15,195	84	12,896	72	2,299	12.8
京築	2,565	84	2,252	73	313	10.2
福岡県	63,075	88	53,711	75	9,364	13.1
全国	1,556,622	84	1,327,531	71	229,090	12.3

・介護サービス従事介護職員数の75歳以上1,000人当たりの数値をみると、京築区域は、県全体より低いものの、全国と同様の数値となっている

・75歳以上1,000人当たりの数値を勤務場所別でみると、介護施設は73と県全体より少ないものの、全国よりも多い状況となっており、

在宅については、10.2と県全体、全国よりも少ない状況となっている



厚生労働省「介護サービス情報公表システム」（令和4年5月）

1 3. 就業場所別の看護師数

福岡県	看護師			就業場所別 二次医療圏ごとの就業場所別人数（斜体）は推計値					
	実数	人口 10万対	割合	病院	診療所	訪問看護 ステーション	介護保険 施設等	社会福祉 施設	その他
	65,134	1,273.1		47,399	9,078	3,126	3,279	419	1,833
福岡・糸島	20,818	1,202.5	32.0%	15,150	2,901	999	1,048	134	586
粕屋	3,176	1,083.5	4.9%	2,311	443	152	160	20	89
宗像	1,740	1,050.4	2.7%	1,266	243	84	88	11	49
筑紫	3,795	859.9	5.8%	2,762	529	182	191	24	107
朝倉	871	1,079.4	1.3%	634	121	42	44	6	25
久留米	6,885	1,532.0	10.6%	5,010	960	330	347	44	194
八女・筑後	1,794	1,401.8	2.8%	1,306	250	86	90	12	50
有明	3,459	1,684.0	5.3%	2,517	482	166	174	22	97
飯塚	2,521	1,470.8	3.9%	1,835	351	121	127	16	71
直方・鞍手	1,066	1,037.8	1.6%	776	149	51	54	7	30
田川	1,378	1,207.3	2.1%	1,003	192	66	69	9	39
北九州	15,962	1,514.2	24.5%	11,616	2,225	766	804	103	449
京築	1,669	923.2	2.6%	1,215	233	80	84	11	47

・看護師数の人口10万人あたりを見ると、京築区域は、県内で2番目に少ない状況となっている

・京築区域について、就業場所別に見ると、病院が最も多く、次いで診療所、介護保険施設等となっており、病院と診療所で87%を占めている



※ 二次医療圏ごとの就業場所別の人数（斜体）は、就業場所別の県全体の人数に看護師実数の二次医療圏ごとの割合を掛けて推計したもの

厚生労働省「衛生行政報告例」（2022（令和4）年12月31日現在）

福岡県「人口移動調査」（2022（令和4）年10月1日現在）

1 3. 就業場所別の准看護師数

福岡県		准看護師								
		実数	人口 10万対	割合	就業場所別 二次医療圏ごとの就業場所別人数（斜体）は推計値					
					病院	診療所	訪問看護 ステーション	介護保険 施設等	社会福祉 施設	その他
		13, 995	273. 6	13, 995	5, 542	5, 445	357	2, 211	288	152
福岡・糸島		2, 893	167. 1	20. 7%	1, 146	1, 126	74	457	60	31
粕屋		662	225. 8	4. 7%	262	258	17	105	14	7
宗像		337	203. 4	2. 4%	133	131	9	53	7	4
筑紫		757	171. 5	5. 4%	300	295	19	120	16	8
朝倉		297	368. 1	2. 1%	118	116	8	47	6	3
久留米		1, 451	322. 9	10. 4%	575	565	37	229	30	16
八女・筑後		542	423. 5	3. 9%	215	211	14	86	11	6
有明		1, 198	583. 2	8. 6%	474	466	31	189	25	13
飯塚		786	458. 6	5. 6%	311	306	20	124	16	9
直方・鞍手		534	519. 9	3. 8%	211	208	14	84	11	6
田川		807	707	5. 8%	320	314	21	127	17	9
北九州		3, 014	285. 9	21. 5%	1, 194	1, 173	77	476	62	33
京築		717	396. 6	5. 1%	284	279	18	113	15	8

・准看護師数の人口10万人あたりを見ると、京築区域は、県平均より多い状況となっている

・京築区域について、就業場所別に見ると、病院が最も多く、次いで診療所、介護保険施設等となっており、病院と診療所で79%を占めている



※ 二次医療圏ごとの就業場所別の人数 (斜体) は、就業場所別の県全体の人数に看護師実数の二次医療圏ごとの割合を掛けて推計したもの

厚生労働省「衛生行政報告例」(2022 (令和4)年12月31日現在)

福岡県「人口移動調査」(2022 (令和4)年10月1日現在)

福岡県在宅療養支援診療所等調査（高齢者地域包括ケア推進課）

【調査対象】

九州厚生局に在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料の届出を行っている施設

【調査時期】

令和5年6月

【回収状況】

令和5年度回答率：94.9%

【項目の説明】

訪問診療：令和5年5月1カ月間の訪問診療患者数（医療機関所在地ベース）の推計値（回答率による割り戻し）を、患者居住地ベースに変換したもの。

小児：令和5年5月1ヶ月間の19歳以下の訪問診療患者数（医療機関所在地ベース）の実数

在宅看取り：令和4年度1年間の在宅看取り（施設看取り含む）患者数（医療機関所在地ベース）の推計値（回答率による割り戻し）

● 在宅医療機関数

	医療機関数	患者数（R5年度）			今後の意向		
		訪問診療	小児	在宅看取り	現在より積極的に取り組みたい	現状維持	今後は減らす、または在宅医療から撤退する予定
福岡・糸島	401	15,151	210	2,489	101	193	20
粕屋	50	1,811	0	256	12	26	4
宗像	32	1,335	27	272	6	20	1
筑紫	69	3,303	7	425	23	32	5
朝倉	37	561	7	79	13	22	2
久留米	160	3,408	48	939	31	89	8
八女・筑後	45	909	2	321	8	22	4
有明	73	1,560	1	327	17	41	2
飯塚	40	1,620	13	486	10	22	4
直方・鞍手	35	1,233	0	191	6	18	2
田川	28	1,105	0	76	6	16	2
北九州	323	10,137	20	2,088	61	165	25
京 築	36	927	4	336	2	28	3
総計	1329	43,058	339	8,284	296	694	82

・在宅医療への今後の意向をみると、京築区域では、「現在より積極的に取り組みたい」が2、「現状維持」が28となっており、

「今後は減らす、または在宅医療から撤退する予定」が3という結果であり、

当面は、現状の体制が維持される見込みとなっている

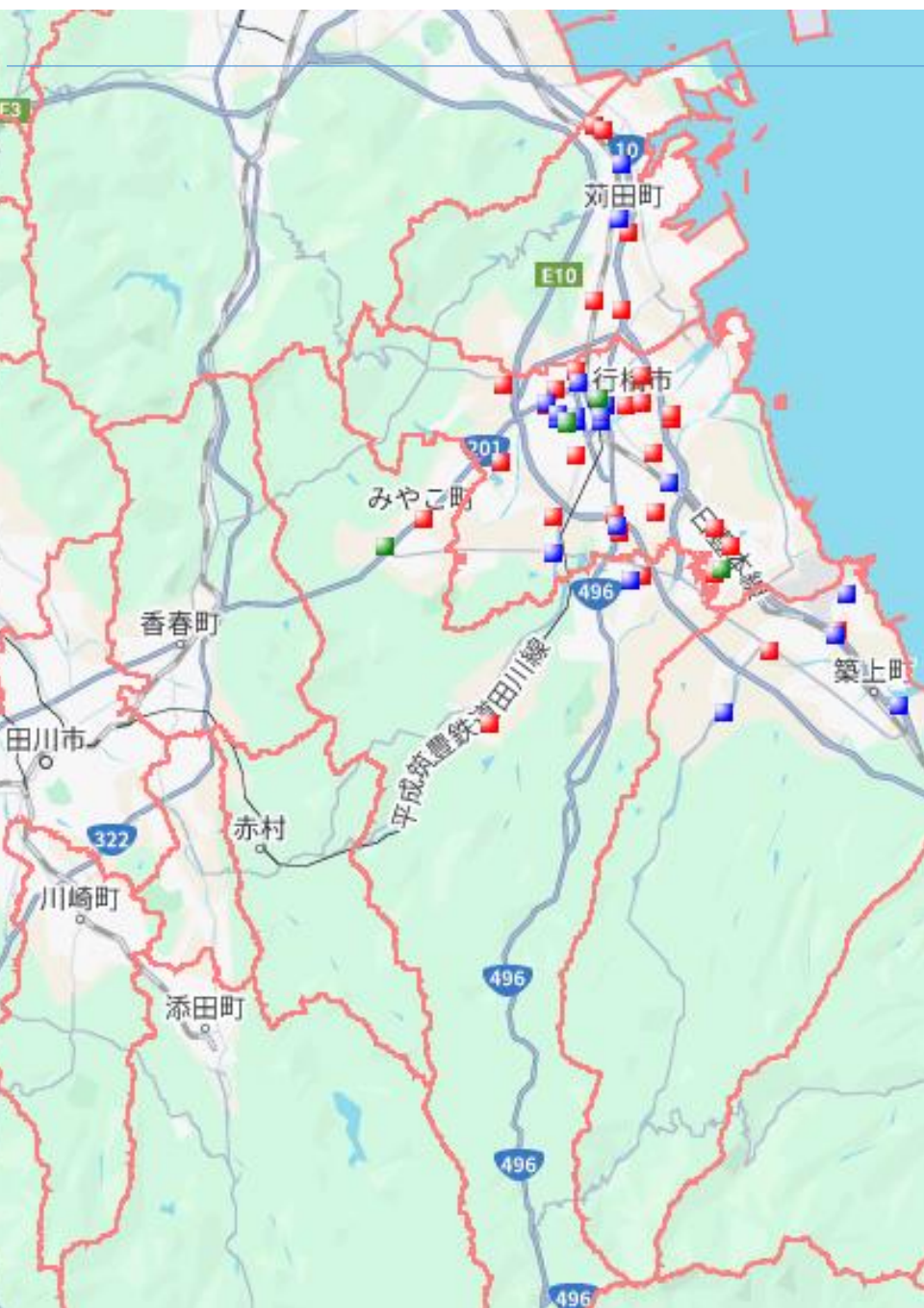


● 在宅医療に従事する医師数

	医師数	常勤	非常勤 （常勤換算）	常勤 + 常勤換算値	29歳以下		30歳～39歳		40歳～49歳		50歳～59歳		60歳～69歳		70歳以上	
福岡・糸島	784	500	70.8	570.8	10	(1.3%)	126	(16.1%)	177	(22.6%)	182	(23.2%)	179	(22.8%)	110	(14.0%)
粕屋	79	65	2.7	67.7	0	(0.0%)	4	(5.1%)	14	(17.7%)	29	(36.7%)	21	(26.6%)	11	(13.9%)
宗像	59	37	6.0	43.0	1	(1.7%)	4	(6.8%)	16	(27.1%)	20	(33.9%)	12	(20.3%)	6	(10.2%)
筑紫	144	102	14.5	116.5	0	(0.0%)	22	(15.3%)	34	(23.6%)	38	(26.4%)	37	(25.7%)	13	(9.0%)
朝倉	54	46	3.3	49.3	1	(1.9%)	4	(7.4%)	10	(18.5%)	7	(13.0%)	21	(38.9%)	11	(20.4%)
久留米	233	174	17.6	191.6	4	(1.7%)	30	(12.9%)	52	(22.4%)	51	(22.0%)	53	(22.8%)	42	(18.1%)
八女・筑後	79	62	2.4	64.4	1	(1.3%)	11	(13.9%)	19	(24.1%)	8	(10.1%)	26	(32.9%)	14	(17.7%)
有明	125	101	3.5	104.5	0	(0.0%)	5	(4.0%)	28	(22.4%)	31	(24.8%)	31	(24.8%)	30	(24.0%)
飯塚	97	52	12.4	64.4	2	(2.1%)	25	(25.8%)	18	(18.6%)	14	(14.4%)	21	(21.6%)	17	(17.5%)
直方・鞍手	54	35	7.0	42.0	1	(1.9%)	9	(16.7%)	11	(20.4%)	9	(16.7%)	15	(27.8%)	9	(16.7%)
田川	41	32	2.2	34.2	0	(0.0%)	1	(2.4%)	6	(14.6%)	14	(34.1%)	13	(31.7%)	7	(17.1%)
北九州	501	368	42.0	410.0	4	(0.8%)	55	(11.0%)	92	(18.4%)	113	(22.6%)	141	(28.1%)	96	(19.2%)
京築	58	48	3.9	51.9	0	(0.0%)	3	(5.2%)	6	(10.3%)	11	(19.0%)	28	(48.3%)	10	(17.2%)
総計	2308	1,622	188.3	1,810.3	24	(1.0%)	299	(13.0%)	483	(20.9%)	527	(22.8%)	598	(25.9%)	376	(16.3%)

- ・ 在宅医療を行う医師の年代をみると、京築区域では、「60～69歳」層の割合が48.3%と高く、他の区域と比べても、その高さが際立っている
- ・ 60歳以上でみると、その割合は65.5%となり、京築区域の在宅医療に従事する医師数の6割超が60歳以上となる
- ・ 今後、老年人口が増えていき、ますます在宅医療への需要が高まることが見込まれる中、現在の年齢構成を考えた際、10年後、20年後に体制を維持することが出来るのか、検討をする必要があるのではないか

1 4. 在支診、在支病、訪問看護STの位置



	在支診	在支病	訪問看護ST
行橋市	10	3	20
豊前市	3	0	2
苅田町	2	0	5
みやこ町	1	1	3
吉富町	1	1	2
上毛町	1	0	1
築上町	4	0	2
合計	22	5	35

在支診・在支病 R6.7.1時点
訪問看護 R7.2.1時点

2020年	2040年	増加率 (20→40)
3,578	6,308	43.3%
1,794	2,368	24.2%
1,425	2,589	45.0%
1,576	2,266	30.5%
347	579	40.1%
499	702	28.9%
1,243	1,821	31.7%
10,462	16,633	37.1%

・85歳以上人口の今後の増加率を考えたとき、現在の体制で対応できるかどうか

・在支診、在支病、訪問看護STともに、行橋市に集中している

・京築区域の中でも、京都地域と豊築地域で大きな差があることが分かる

看護職員確保に係る実態調査（医療指導課 医師・看護職員確保対策室）

【調査対象】

（１）施設調査：約5,000施設

病院（457）、医科診療所（4,748うち3,096）、助産所（分娩13）、訪問看護ステーション（613）、介護老人保健施設（176）、介護老人福祉施設（333）、介護医療院（33）、障がい児者施設（施設入所・療養介護）（144）、保健所（18）、市町村（保健所設置市以外57）、看護師等学校養成所（大学・養成所・5年一貫校60）

※医科診療所の無作為抽出は、医療圏ごとに行う。

（２）看護職員調査：約15,000人

上記施設に勤務する看護職員

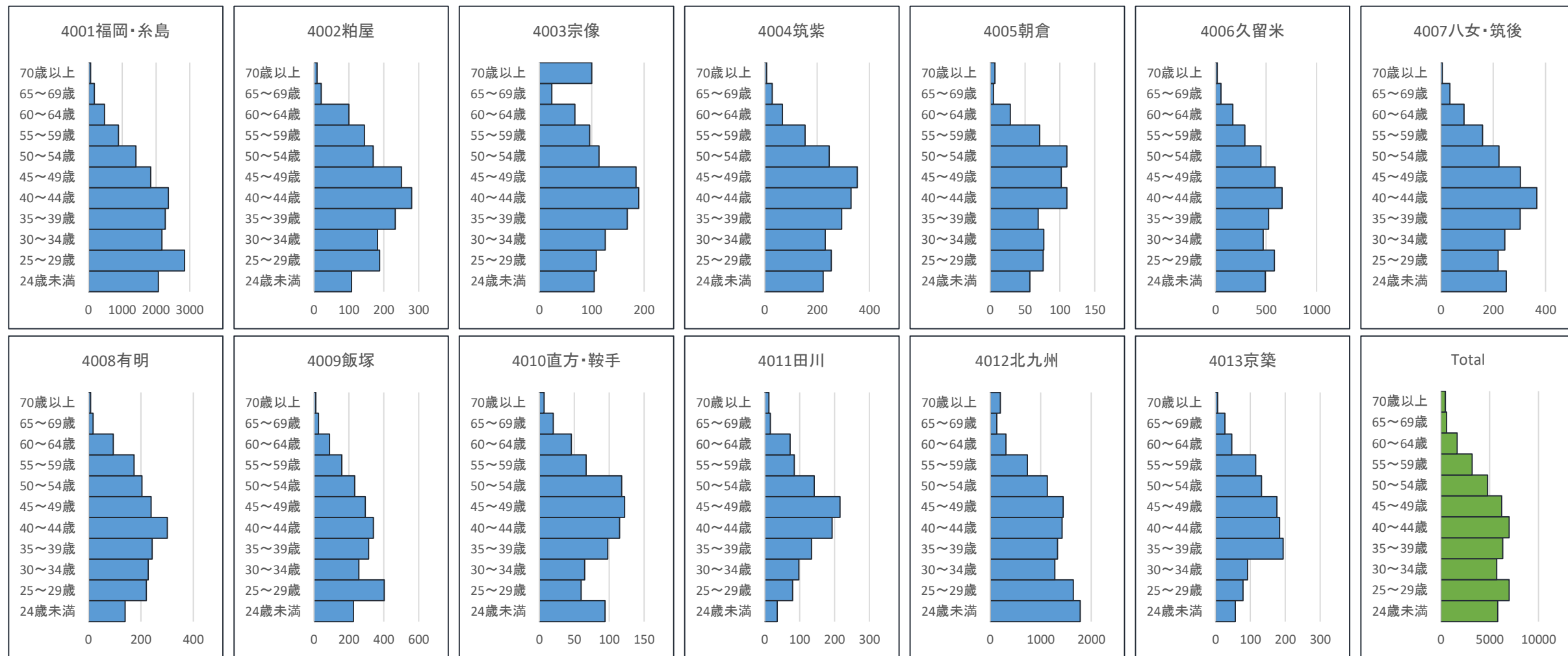
【調査時期】

令和2年10月16日（金）～11月20日（金）

【回収状況】

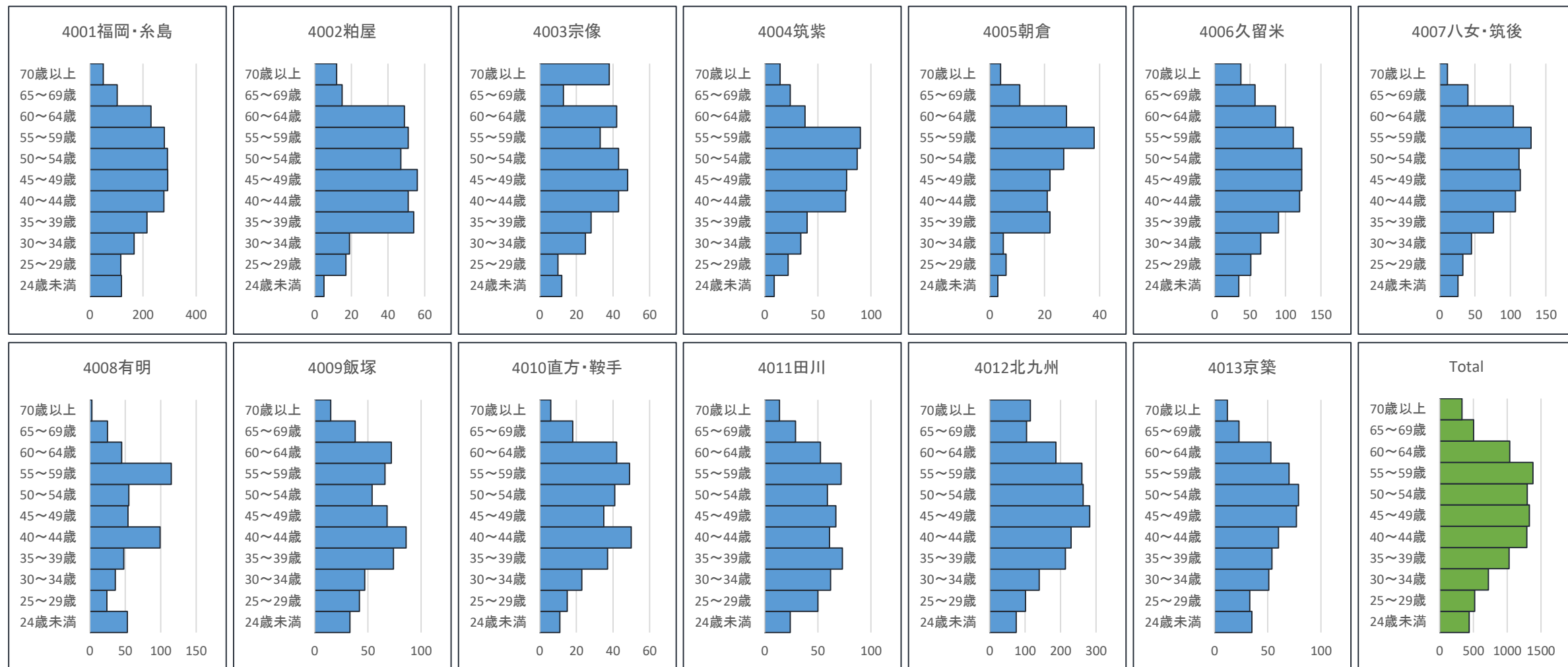
施設 2,963件（回収率59.3%） ／ 看護職員 回収 10,394件（回収率68.6%）

● 看護師数



- ・京築区域の年齢構成ピラミッドをみると、30代前半以下の層が極端に少ない状況になっており、他の区域と比べても、その状況がわかる
- ・看護師確保の困難さが言及されているなか、このままの年齢構成で10～20年後を考えた際、医療提供体制を維持できるか

● 准看護師数



- ・京築区域の年齢構成ピラミッドをみると、看護師よりも各年齢層に厚みはあるが、ボリュームゾーンが50代付近に集まっている状況となっている
- ・看護師同様、確保の困難さが言及されているなか、ボリュームゾーンが抜けた後、医療提供体制を維持できるか

1 6. 二次医療圏の人口及び流入流出患者割合・比較表

二次医療圏	人口				推計流入患者割合			推計流出患者割合		
	H28. 8. 1時点	R5. 8. 1時点	差	(割合)	H26調査	H29調査	差	H26調査	H29調査	差
4001 福岡・糸島	1, 662, 747	1, 740, 857	78, 110	(4. 70%)	20. 40%	22. 00%	1. 60%	10. 50%	11. 20%	0. 70%
4002 粕屋	286, 850	292, 622	5, 772	(2. 01%)	43. 70%	38. 60%	▲ 5. 10%	39. 20%	34. 30%	▲ 4. 90%
4003 宗像	158, 331	165, 602	7, 271	(4. 59%)	21. 50%	16. 80%	▲ 4. 70%	35. 40%	33. 80%	▲ 1. 60%
4004 筑紫	435, 830	440, 919	5, 089	(1. 17%)	29. 00%	27. 10%	▲ 1. 90%	38. 70%	38. 10%	▲ 0. 60%
4005 朝倉	82, 672	80, 348	▲ 2, 324	(▲ 2. 81%)	16. 50%	16. 80%	0. 30%	39. 70%	34. 70%	▲ 5. 00%
4006 久留米	454, 969	447, 316	▲ 7, 653	(▲ 1. 68%)	36. 20%	30. 60%	▲ 5. 60%	23. 10%	21. 70%	▲ 1. 40%
4007 八女・筑後	131, 664	127, 106	▲ 4, 558	(▲ 3. 46%)	24. 90%	25. 80%	0. 90%	26. 90%	21. 60%	▲ 5. 30%
4008 有明	218, 233	202, 644	▲ 15, 589	(▲ 7. 14%)	18. 30%	16. 60%	▲ 1. 70%	21. 30%	18. 80%	▲ 2. 50%
4009 飯塚	179, 120	170, 014	▲ 9, 106	(▲ 5. 08%)	23. 50%	28. 50%	5. 00%	20. 80%	16. 70%	▲ 4. 10%
4010 直方・鞍手	107, 203	101, 892	▲ 5, 311	(▲ 4. 95%)	20. 20%	20. 80%	0. 60%	39. 60%	41. 50%	1. 90%
4011 田川	123, 162	112, 634	▲ 10, 528	(▲ 8. 55%)	5. 30%	7. 30%	2. 00%	33. 80%	38. 30%	4. 50%
4012 北九州	1, 085, 260	1, 046, 238	▲ 39, 022	(▲ 3. 60%)	9. 40%	8. 20%	▲ 1. 20%	6. 20%	5. 80%	▲ 0. 40%
4013 京築	183, 798	179, 800	▲ 3, 998	(▲ 2. 18%)	14. 50%	13. 80%	▲ 0. 70%	39. 00%	35. 30%	▲ 3. 70%
40 福岡県	5, 109, 839	5, 107, 992	▲ 1, 847	(▲ 0. 04%)	20. 80%	20. 00%	▲ 0. 80%	19. 50%	18. 70%	▲ 0. 80%

京築区域は、
H28からR5の期間で
人口が
約4,000人 (2.2%)
減少

推計流入患者割合
が、0.7ポイント減少
し、

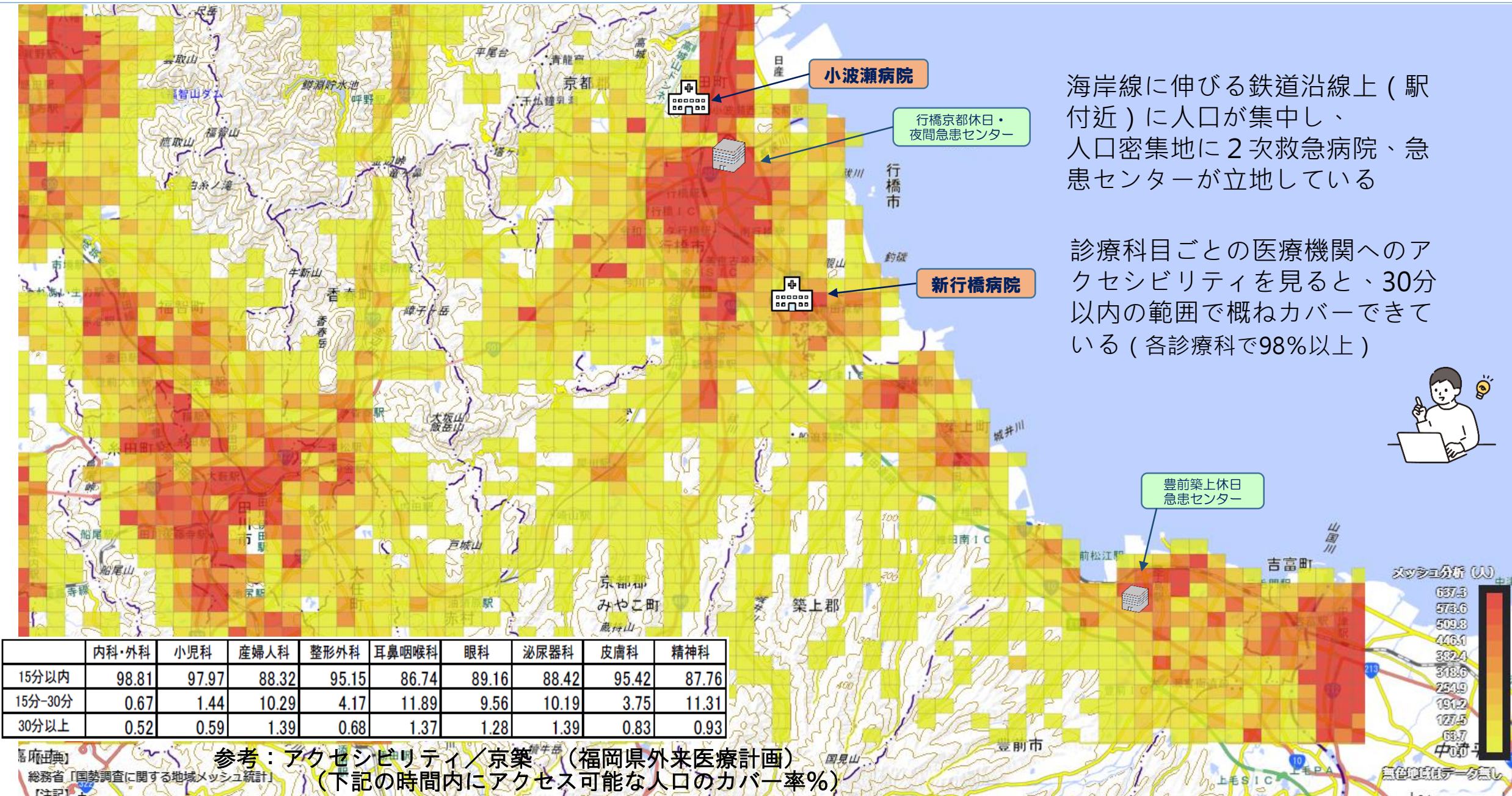
推計流出患者割合
が、3.7ポイント減少
したが、

流出患者は依然とし
て高い割合となっ
ている。



※ 人口：福岡県人口移動調査「福岡県の人口と世帯（推計）」（令和5年8月1日現在）、（平成28年8月1日現在）

※ 推計流入患者割合、推計流出患者割合：平成29年患者調査〔厚生労働省医政局地域医療計画課による特別集計〕



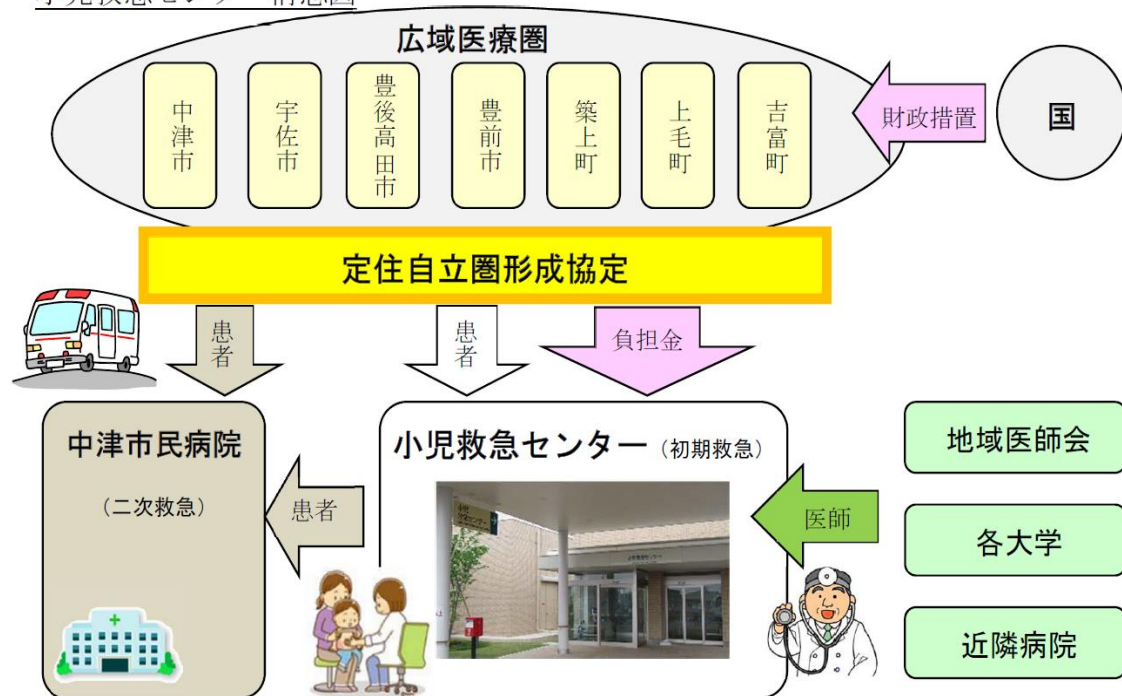
九州周防灘地域定住自立圏

（構成市町：中津市、宇佐市、豊後高田市、豊前市、築上町、上毛町、吉富町）

平成21年4月30日に中津市が「中心市宣言」を行い、定住自立圏構想のもと、通勤・通学圏、医療圏、商圈等の状況を踏まえ、平成21年11月2日に宇佐市・豊後高田市・豊前市・築上町・上毛町と、令和2年1月17日に吉富町とそれぞれ1対1で協定を締結し、近隣3市3町とともに「九州周防灘地域定住自立圏」を形成

【具体的な取組：小児救急医療体制の確保】

小児救急センター構想図



〔概要〕

圏域で中津市立小児救急センターの安定的運営を維持。

〔圏域の役割分担〕

中津市立小児救急センターは、子どもの夜間・休日の初期救急を行う診療所として独自で運営。圏域自治体は、小児救急センターの運営に伴う費用を、患者数に応じて負担。

【事業内容】

- ・ 小児救急センター支援事業（全自治体）
- ・ 医療機関検索システム運用事業（全自治体）

	搬送人員	年齢区分					居住地		
		乳幼児 (割合)	新生児 (割合)	少年 (割合)	成年 (割合)	高齢者 (割合)	管内 (割合)	管外 (割合)	その他 (割合)
行橋市消防本部	3,057	155 (5.1%)	12 (0.4%)	88 (2.9%)	802 (26.2%)	2,000 (65.4%)	2,705 (88.5%)	346 (11.3%)	6 (0.2%)
苅田町消防本部	1,537	78 (5.1%)	1 (0.1%)	57 (3.7%)	570 (37.1%)	831 (54.1%)	1,261 (82.0%)	275 (17.9%)	1 (0.1%)
京築広域圏消防本部	3,904	145 (3.7%)	2 (0.1%)	120 (3.1%)	808 (20.7%)	2,829 (72.5%)	3,517 (90.1%)	380 (9.7%)	7 (0.2%)
京築区域計	8,498	378 (4.4%)	15 (0.2%)	265 (3.1%)	2,180 (25.7%)	5,660 (66.6%)	7,483 (88.1%)	1,001 (11.8%)	14 (0.2%)
福岡県	254,728	10,824 (4.2%)	687 (0.3%)	8,654 (3.4%)	75,536 (29.7%)	159,027 (62.4%)	235,856 (92.6%)	17,854 (7.0%)	1,018 (0.4%)

	初診医判断				
	死亡 (割合)	重篤 (割合)	重症 (割合)	中等症 (割合)	軽症 (割合)
行橋市消防本部	41 (1.3%)		139 (4.5%)	1,634 (53.5%)	1,243 (40.7%)
苅田町消防本部	23 (1.5%)		56 (3.6%)	732 (47.6%)	726 (47.2%)
京築広域圏消防本部	68 (1.7%)	2 (0.1%)	259 (6.6%)	2,199 (56.3%)	1,376 (35.2%)
京築区域計	132 (1.6%)	2 (0.0%)	454 (5.3%)	4,565 (53.7%)	3,345 (39.4%)
福岡県	1,573 (0.6%)	8 (0.0%)	13,146 (5.2%)	138,915 (54.5%)	100,911 (39.6%)

軽症に占める高齢者の割合

行橋市消防本部	57.8%
苅田町消防本部	41.9%
京築広域圏消防本部	61.7%
京築区域計	56.0%
福岡県	47.7%



- ・ 搬送人員を年齢区分別に見ると、京築区域、県ともに高齢者の割合が高い → 京築67%、県62%
- ・ 症状別では、京築、県ともに割合の差はないが、軽傷に占める高齢者の割合については、県48%に対して、京築56%であった

高齢者について、救急要請の発生場所をみると…

	搬送人員	年齢区分	
		高齢者（割合）	
行橋市消防本部	3,057	2,000 (65.4%)	→ 住宅（64.8%）、老人保健施設等（13.6%）
苅田町消防本部	1,537	831 (54.1%)	→ 住宅（68.8%）、老人保健施設等（12.3%）
京築広域圏消防本部	3,904	2,829 (72.5%)	→ 住宅（50.5%）、老人保健施設等（18.1%）
京築区域計	8,498	5,660 (66.6%)	→ 住宅（64.4%）、老人保健施設等（15.6%）
福岡県	254,728	159,027 (62.4%)	→ 住宅（62.0%）、老人保健施設等（15.9%）

- ・ 高齢者の件数について、救急要請の発生場所を見ていくと、
県全体、京築区域ともに、住宅が最も割合が高く、次いで、老人保健施設等であった



	搬送人員	収容平均 所要時間 (分)	搬送決定までの連絡回数				搬送先	
			1回（割合）	2回（割合）	3回（割合）	4回以上（割合）	管内（割合）	管外（割合）
行橋市消防本部	3,057	33.3	2,847（93.1%）	154（5.0%）	36（1.2%）	20（0.7%）	1,501（49.1%）	1,556（50.9%）
苅田町消防本部	1,537	34.3	1,393（90.6%）	100（6.5%）	26（1.7%）	18（1.2%）	988（64.3%）	549（35.7%）
京築広域圏消防本部	3,904	40.4	3,434（88.0%）	331（8.5%）	89（2.3%）	50（1.3%）	19（0.5%）	3,885（99.5%）
京築区域計	8,498	-	7,674（90.3%）	585（6.9%）	151（1.8%）	88（1.0%）	2,508（29.5%）	5,990（70.5%）
福岡県	254,728	37.9	196,547（77.2%）	31,515（12.4%）	12,679（5.0%）	13,987（5.5%）	201,365（79.1%）	53,363（20.9%）

県全体では65%、京築区域では50%が高齢者

【京築区域各消防本部の主な搬送先】

- 行橋市消防本部：新行橋病院（48.6%）、小波瀬病院（31.9%）、小倉医療センター（4.3%）
- 苅田町消防本部：小波瀬病院（63.5%）、九州労災病院（12.5%）、新行橋病院（7.2%）
- 京築広域消防本部：新行橋病院（52.3%）、中津市民病院（20.1%）、小波瀬病院（10.2%）



- ・ 収容平均所要時間は、県全体が37.9分であるのに対して、行橋市消防は33.3分、苅田消防が34.3分、京築広域消防が40.4分であった
- ・ 搬送決定までの連絡回数は、1回が県77%、京築区域90%で、3回までに決まる割合は、県94%、京築区域99%であった
- ・ 京築区域各消防本部の主な搬送先を見ると、苅田町消防で12.5%が域外の九州労災病院に、京築広域消防で20.1%が中津市民病院に搬送されている

2 1. MDC (主要診断群分類) 別割合 (手術あり) 令和4年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」(R4.4月～R5.3月)⁵¹

Major Diagnostic Category : WHOが制定しているICD-10分類「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回修正」に基づく18の主要診断群のこと

神経系 (01)	: 新行橋病院 (85.2%)、東病院 (9.2%)、小波瀬病院 (5.6%)
眼科系 (02)	: 小波瀬病院 (100.0%)
耳鼻科系 (03)	: —
呼吸器系 (04)	: 新行橋病院 (69.8%)、小波瀬病院 (30.2%)
循環器系 (05)	: 新行橋病院 (92.9%)、小波瀬病院 (7.1%)
消化器系 (06)	: 新行橋病院 (57.7%)、小波瀬病院 (41.0%)、行橋中央病院 (1.4%)
筋骨格系 (07)	: 小波瀬病院 (100.0%)
皮膚系 (08)	: —
乳房系 (09)	: 小波瀬病院 (100.0%)
内分泌系 (10)	: —
腎尿路系 (11)	: 新行橋病院 (85.9%)、小波瀬病院 (14.1%)
女性系 (12)	: 小波瀬病院 (100.0%)
血液系 (13)	: —
新生児系 (14)	: —
小児系 (15)	: —
外傷系 (16)	: 新行橋病院 (64.3%)、小波瀬病院 (35.7%)
精神系 (17)	: —
その他 (18)	: 新行橋病院 (100.0%)

- ・調査結果を見ると、手術が行われている領域については、概ね、新行橋病院、小波瀬病院が担ってる
- ・データがない領域もある (新生児系、小児系等)



神経系 (01)	: 新行橋病院 (55. 8%)、東病院 (25. 2%)、小波瀬病院 (12. 4%) 等
眼科系 (02)	: ー
耳鼻科系 (03)	: 新田原聖母病院 (42. 3%)、新行橋病院 (35. 1%)、小波瀬病院 (22. 6%)
呼吸器系 (04)	: 新行橋病院 (55. 1%)、小波瀬病院 (23. 6%)、新田原聖母病院 (8. 4%) 等
循環器系 (05)	: 新行橋病院 (52. 3%)、行橋中央病院 (20. 7%)、小波瀬病院 (16. 9%) 等
消化器系 (06)	: 新行橋病院 (43. 9%)、小波瀬病院 (33. 1%)、行橋中央病院 (13. 4%) 等
筋骨格系 (07)	: 小波瀬病院 (43. 1%)、新行橋病院 (32. 8%)、行橋中央病院 (24. 1%)
皮膚系 (08)	: 新行橋病院 (53. 2%)、東病院 (18. 1%)、小波瀬病院 (16. 0%) 等
乳房系 (09)	: 小波瀬病院 (100. 0%)
内分泌系 (10)	: 行橋中央病院 (49. 4%)、新行橋病院 (24. 7%)、小波瀬病院 (18. 0%) 等
腎尿路系 (11)	: 新行橋病院 (57. 2%)、小波瀬病院 (27. 9%)、行橋中央病院 (8. 2%) 等
女性系 (12)	: ー
血液系 (13)	: 新行橋病院 (68. 1%)、小波瀬病院 (31. 9%)
新生児系 (14)	: ー
小児系 (15)	: ー
外傷系 (16)	: 新行橋病院 (59. 5%)、小波瀬病院 (26. 4%)、行橋中央病院 (8. 3%)
精神系 (17)	: 新行橋病院 (100. 0%)
その他 (18)	: 新行橋病院 (83. 1%)、小波瀬病院 (16. 9%)



● 福岡県外来医療計画策定時における構想区域での意見 （令和5年度）

- ・産婦人科が不足しており、患者は行橋・中津に行っている。
- ・独居の高齢者も多く、今後死体検案が増えてくることが予想され、死体検案を担う医師が必要。
- ・在宅医療を担う医師が不足しており、在宅医療を担う若手医師の確保が必要。

● 地域医療構想調整会議での意見 （令和5年度、令和6年度第1回）

- ・小児科医が少ないため、各小児科医に負担が生じている。
- ・安易に救急車を呼ぶケースが増えているように思う。
- ・泌尿器科を診る診療所がなくなってきており、小波瀬病院に集中している。



（参考）各市町の総合計画

- ・市町の総合計画において、住民アンケートの結果として、医療の充実等が挙げられている。
- ・また、地域医療の充実が主要施策として挙げられている。

例）「地域の医療施設が整備されること」：比較的重要だと考えられているが、満足度は十分に高くなく、取り組みの充実が特に求められる（上毛町総合計画）

例）「医療・福祉施設やサービスの充実度」が強み弱みともに5位（苅田町総合計画）

例）住民アンケートの今後の重要度で「医療体制の充実」が、重要・やや重要を含め80%以上（みやこ町総合計画）



将来推計人口を踏まえた対応について



各市町の総合計画を見ながら考えていくことも必要では...

- ・ 人口の推移については、区域内の市町ごとでも状況が異なっており、人口総数が4割以上減少するところもあれば、減少幅が1割以下のところもある。
- ・ 85歳以上人口についても、4割以上増加するところがある一方で、2割程度の増加のところもある。
- ・ 各市町で状況が異なる中、京築区域として医療提供体制を維持していくために、今後どのような取組が求められるのか検討していく必要があるのではないか。
(例：医療介護連携、医療職の確保、健康づくり、医療DX 等)



不足する診療科目への対応について

- ・ 産婦人科、小児科が不足しているとの意見がある。
- ・ 15歳未満の人口は減少していき、“周産期”“妊娠・分娩”の患者は、外来、入院ともに減少していく中で、どのような医療提供体制を目指していくのか。
- ・ また、検討に際しては、医師（開業医）の年齢構成や、後継者確保（継承）の困難さ等を踏まえる必要があるのではないか。



在宅医療への対応について

- ・ 将来人口推計をみると、京築区域は、85歳以上の人口がおよそ倍増する見込み。
- ・ 現在の人口を年齢3区分ごとにみても、京築区域は、老年人口の割合が、県全体、全国よりも高い状況となっている。
- ・ これらの状況を踏まえ、現在の在宅医療を担う医師や看護職員の年齢構成を見ると、10年後、20年後の体制を維持できるか、検討する必要があるのではないか。



救急医療体制について



あわせて、現在の各病院の病床機能についても確認していく必要があるのでは...

- ・ 救急搬送の約67%が高齢者、また搬送後に軽症と判断された患者は約39%であり、そのうち、高齢者の割合は56%。
- ・ 搬送先については、隣接する北九州区域（小倉医療センター、九州労災病院）や、大分県北部医療圏（中津市民病院）に一定数、運ばれている。
- ・ 今後、高齢者が増え、これまで以上に救急搬送件数の増加が予想される中で、医師の働き方改革も踏まえ、救急医療提供体制をどのようにしていくのか。
- ・ また、隣接区域も同様の状況の中、改めて、連携体制を確認する必要があるのではないか。